





商標

下記の他社商標・登録商標をはじめ、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。 なお、本文および図表中では「™」、「®」マークは明記しておりません。

- Adobe、Adobe ロゴ、Photoshop、Illustrator、Flash、Adobe Flash Player は、Adobe Systems Incorporated(ア ドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- Blender は Blender Foundation の商標または登録商標です。
- CELSYS、ComicStudio、IllustStudio、CLIP、CLIP STUDIO、CLIP STUDIO PAINT、CLIP STUDIO ACTION は、 株式会社セルシスの商標または登録商標です。
- Google、Google Chrome、Android、YouTube および YouTube ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標 です。
- Microsoft、Windows、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10、Internet Explorer、 Microsoft Edge、またはその他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国 Microsoft Corporation の 米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mozilla、Firefox、Thunderbird の名称およびそのロゴは、米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の 国における商標または登録商標です。
- Pentium、Xeon、Intel Core、インテルの名称およびそのロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

目次

1	章	イントロダクション	1
	1.1	概要	. 1
	1.2	キャラクター紹介	2
	1.3	製品版と無料体験版・機能制限版の違いについて	3
2	章	セットアップ	4
	- 21	動作 環境	Λ
	2.1	到FF現境	4 Л
	2.2	アンインストール	- 6
2	2.J 辛	了了了了一次,"你	 7
J	무	~~亦十	/
	3.1	アプリケーションの起動	7
	3.2	基本的な操作方法	7
	3.3	ポップアップメニュー	7
		3.3.1 各部名称	7
		3.3.2 ポップアップメニューを表示する	8
	3.4	時報機能	9
		3.4.1 時報の間隔を設定する	9
	3.5	音声コマンド一覧を表示する	9
	3.6	音声認識ロクバネルを表示する	9
	3.7	[境境設定] ウインドウを表示する	9
	3.8	キャフクターの表示・非表示を切り替える	10
	3.9	音声をミュート(消音)設定する	10
	3.10	U キャフクダーを常に手削に表示する	10
	3.1	衣示倍率を変更する	10
	3.1.	2 个透明度を変更9 る	10
	3.13	3 百円認識を有効に 9 る	10
	3.14 2.11	4 スタートアップに豆球して US 起動時に起動させる	11
	5.13	D ての他情報の表示・器面豆球について	11
	2 14	- 3.13.1	11 11
л	یں.د ح ت	0 本表印 2 彩] 9 る	3
4	早	嗝児設正I	2
	4.1	設定画面の切り替え	12
		4.1.1 各部名称	12
		4.1.2 タブに表示される「*」について	12
	4.2	基本設定	13
		4.2.1 各部解説	13

	4.2.2 アプリケーションへのパスを設定する	17
	4.2.3 アプリケーションをプロファイル登録する	
	4.2.4 プロファイル登録したアプリケーションを削除する	
	4.2.5 アプリケーションを起動するための音声コマンド文を追加する	19
	4.2.6 基本設定をファイルに保存(バックアップ)する	
	4.2.7 基本設定をファイルから読み込む	20
4.3	ショートカット設定	21
	4.3.1 各部解説	21
	4.3.2 ショートカットキーを設定する	27
	4.3.3 ショートカットキーを削除する	
	4.3.4 全てのショートカットキーを削除する	
	4.3.5 マクロを割当てる	
	4.3.6 ショートカット設定をファイルに保存(バックアップ)する	
	4.3.7 ショートカット設定をファイルから読み込む	
	4.3.8 プロファイルを切り替える	
	4.3.9 グループラベルを追加する	
	4.3.10 グループラベルを削除する	
	4.3.11 グループラベルを編集する	
	4.3.12 グループラベルの表示位置を移動する	
	4.3.13 音声コマンドを追加する	
	4.3.14 音声コマンドを削除する	
	4.3.15 音声コマンドを編集する	
	4.3.16 音声コマンドの表示位置を移動する	
	4.3.17 音声認識された文字列をクリップボードにコピーする	
	4.3.18 コマンドテンプレートをファイルに保存(バックアップ)する	
	4.3.19 コマンドテンプレートをファイルから読み込む	
4.4	マクロ設定	
	4.4.1 各部解説	
	4.4.2 マクロを追加する	44
	4.4.3 マクロを削除する	44
	4.4.4 マクロ名を編集する。	45
	4.4.5 マクロの表示位置を移動する	45
	4.4.6 マクロコマンドを記録する	46
	4.4.7 マクロコマンドを挿入する	47
	4.4.8 マクロコマンドを削除する	
	4.4.9 マクロコマンドを編集する	49
	4.4.10 マクロコマンドの表示位置を移動する	53
	4.4.11 マクロ設定をファイルに保存(バックアップ)する	53
	4.4.12 マクロ設定をファイルから読み込む	54
5 章	音声認識	55
5.1	音声認識の利用方法	55
	5.1.1 マイクの接続	55
	5.1.2 マイクのアクセス設定(Windows10)	55
	5.1.3 マイクの音量調整	56

		5.1.4 音声認識の開始	56
		5.1.5 音声認識の終了	57
		5.1.6 音声認識が上手くいかない場合の注意点	57
	5.2	音声認識による操作方法	58
		5.2.1 音声コマンドについて	58
		5.2.2 音声コマンドの送信	58
		5.2.3 助詞等の省略	58
		5.2.4 名前の省略(連続モード)	58
		5.2.5 回数指定	58
	5.3	音声コマンド文の記述方法	59
		5.3.1 命令文の記述方法	59
		5.3.2 読み方の記述方法	59
		5.3.3 特殊文字と文章の分割数	60
		5.3.4 コマンド文の一部が他の音声コマンドと重複する場合	61
	5.4	音声認識でテキスト入力する方法	62
		5.4.1 テキスト入力の準備	62
		5.4.2 入力されるテキストについて	63
6 i	章	音声コマンド一覧	64
	6.1	音声コマンド一覧の読み方	64
	6.2	基本音声コマンド	64
	6.3	マウス&キーボード入力音声コマンド	67
		6.3.1 マウス入力	67
		6.3.2 キーボード入力	68
		6.3.3 マウス&キーボード共通入力	68
7 i	章	Q & A	69
	7.1	起動・インストールのQ&A	69
		Q. インストールは出来たのに本製品が起動出来ない。	69
		Q. 製品を新しいバージョンにアップデートするにはどうすれば良いですか?	69
		Q. 最新バージョンは何処からダウンロードできますか?	69
	7.2	操作・設定の Q & A	69
		Q. ショートカットを設定するにはどうすれば良いですか?	69
		Q. キャラクターを全て非表示にした場合、再度表示する方法は?	69
		Q. 音声コマンド(命令)の文章は、自分で変更や追加ができますか?	70
		Q. 音声コマンドで起動するブラウザやメーラーは変更できますか?	70
	7.3	音声認識のQ&A	70
		Q. 音声認識を有効にするには?	70
		Q. マイクの設定方法は?	70
		Q.「音声認識の開始に失敗しました。」と出て音声認識が出来ない。	70
		Q. 話しかけると「アプリケーションが選択されていません。」と出る。	70
		Q.「CLIP STUDIO PAINT」を設定したのに話しかけても起動やショートカット入力が出来ない。	70
		Q. マイクが正常に接続されているのに、キャラクターが正常な反応をしない。	71
		Q. 音声データはインターネットを通してどこかに送信されていますか?	71

1章 イントロダクション

この度はペイントソフト用音声認識アシスタント『タンポポ』(以下、「本製品」)をご利用いただき、ありがと うございます。本書は本製品の機能や操作方法等を紹介するマニュアルです。ここでは本製品の概要やキャラク ター紹介、製品版と無料体験版・機能制限版の違い等について説明しています。

1.1 概要

本製品は【声】でショートカットキー入力が出来る、次世代のお絵描きアシスタント・アプリです。

本製品を使用すると、キーボードやマウスの代わりに【声】でアプリケーションを操作できるので、キャラクター 名を呼んだ後に「レイヤー追加して。」や「Alt キー押さえて。」と言うだけでレイヤーを追加してくれたり、キー を押さえてくれたりします。

他にもモニターの ON/OFF や音量の調整、ブラウザや電卓の起動、指定の間隔で時間を知らせてくれる時報機 能等、便利な機能が搭載されておりますので、話しかけて様々な機能をお楽しみ下さい。



1.2 キャラクター紹介

タンポポ

とっても元気でちっちゃな女の子。よくキノコに座って鼻歌を 歌っているよ。つかむと「はゎはゎ」言うよ。ついでにお絵か きのお手伝いもちょっとするよ。





キノコ

キノコだよ。

1.3 製品版と無料体験版・機能制限版の違いについて

無料体験版は 30 日間、製品版の全ての機能を使用することが出来ます。体験期間終了後は製品版のいくつかの 機能が制限された機能制限版としてご利用いただけます。機能制限版に使用期限はありませんが、製品版とは下 記表の違いがあります。

機能	製品版	機能制限版
音声コマンド作成・編集機能	有り	無し
[ショートカット設定] 音声コマンド作成上限数	30	0
プロファイル登録数	2	1

2章 セットアップ

ここでは本製品の動作環境やインストール・アンインストール等について解説しています。

2.1 動作環境

OS Microsoft Windows 10 日本語版専用(64bit 対応)					
CPU Pentium 以降(もしくは互換)の CPU(推奨 1GHz 以上)					
メモリ	1GB 以上				
HDD	200MB 以上の空き容量				
サウンドシステム	・16bit、サンプリングレート 16000Hz 以上での録音に対応したサウンドデバイス ・マイクロフォン				

2.2 インストール

ここでは本製品のインストール方法について解説しています。

1. セットアッププログラムを起動する

ダウンロードしたファイルを解凍し、実行ファイルをダブルクリッ クします。 ※ファイル名はバージョンによって異なります。 このとき、[ユーザーアカウント制御]ダイアログが表示されたら[は い]または[続行]をクリックして下さい。



2. セットアップウィザードを確認する

[セットアップウィザード] が表示されたら、[次へ] をク リックします。



3. 使用許諾契約書を確認する

使用許諾契約書の内容を確認後、同意する場合は[同意する] を選択して[次へ]をクリックします。 ※同意されない場合は[キャンセル]をクリックしてインストー ルを終了して下さい。



4. シリアル番号を入力する

シリアル番号を入力して [次へ] をクリックします。 ※シリアル番号は WEB サイト(https://www.qbell.jp)でサ インインしていただき、[マイページ] → [注文履歴] からご確 認いただけます。

※無料体験版をご利用の場合は、何も入力せずに「次へ」をクリックして下さい。

5. インストール先を指定する

インストール先を確認してから、[次へ]をクリックします。





6.ショートカットアイコンを作成するか選択する

デスクトップにショートカットアイコンを作成する場合はそのまま[次へ]をクリックします。 ※デスクトップにショートカットアイコンを作成したくない場合はチェックを外して下さい。



7. インストールを開始する

[インストール準備完了]画面が表示されたら、[インストー ル]をクリックします。インストールが開始されますので、 完了するまでお待ち下さい。

ポイントソフト用音声認識アシスタント『タンボボ』セットアップ ー	• ×
インストール準備完了 ご使用のコンピュータへ ペイントソフト用音声記聴アシスタント『タンボボ』をインフ ールする準備ができました。	RF 🕵
インストールを統行するには『インストール」を、設定の確認や変更を行うには「戻 りしてください。	る」をクリッ
インストール先: C:¥Program Files¥Qbell¥PSSRATanpopo	^
i倉加タスクー覧: アイコンを追加する: デスクトップ上にアイコンを作成する(□)	
٢	>
< 戻る(8) インストール(1)	キャンセル

8. インストールを完了する

[セットアップウィザードの完了] 画面が表示されたら、[完 了] をクリックします。以上でインストールは完了です。

劇 ペイントソフト用音声認識アシ	スタント『タンポポ』セットアップ — 🗆 🗙
ペイントソフト用 (****	ペイントソフト用音声認識アシスタント『タンボ ボ』セットアップウィザードの完了
S Casas	ご使用のコンピューターにペイントソフト用音声認識アシスタント『 タンポポ』がセットアップされました。アプリケーションを実行するには インストールされたアイコンを選択してください。
	セットアップを終了するには「完了」をクリックしてください。
00	✓ ペイントソフト用音声認識アシスタント『タンボボ』を実行する
	☑ readme.txt ①表示
	完了(F)

2.3 アンインストール

ここでは本製品のアンインストール方法を解説しています。Windows のバージョンを確認して、下記手順に従って下さい。

Windows 10 をお使いの場合

 [スタートメニュー]→[設定]→[アプリ]→[アプリと機能]→本製品を選択して[アンインストール]
 がタンをクリックします。

アプリケーションをアンインストールすると、ショートカットやマクロ、プロファイル等の環境設定も削 除されます。設定が必要な場合はアンインストールする前にバックアップを取って下さい。

3章 基本操作

ここではアプリケーションの起動・終了方法やポップアップメニューの解説等、本製品の基本操作の解説をして います。

3.1 アプリケーションの起動

[スタートメニュー]に登録された本製品のアイコンやデスクトップに作成されたショートカットアイコンから 起動します。

3.2 基本的な操作方法

キャラクター上で右クリックすると表示されるポップアップメニューからキャラクターの表示倍率や音声認識の 有効化等、様々な設定を行うことが出来ます。また、キャラクター上でマウス左ボタンを押してドラッグするこ とでデスクトップ内を移動させることが出来ます。

3.3 ポップアップメニュー

ここではキャラクターの表示状態や音声認識機能の有効化、ショートカットキーの設定等、様々な設定ができる ポップアップメニューについて解説をしています。ポップアップメニューの設定は本製品終了時に保存されます。

3.3.1 各部名称

図の緑枠の部分はキャラクター固有のメニュー項目となってお り、それ以外は全てのポップアップメニューで共通のメニュー 項目となっています。

①(キャラクター名)を非表示

キャラクターを非表示にします。全キャラクターのポップアッ プメニューで [(キャラクター名)を非表示] として表示され ています。

② 時報の間隔

時報の間隔を設定します。

③ 音声コマンド一覧

音声コマンドの一覧表をバルーン(吹き出し)で表示します。

④ 音声認識ログパネル

この項目にチェックを付けると音声認識された文字列を確認で きるウィンドウが表示されます。

⑤ 環境設定

[環境設定]ウィンドウを表示します。

キャラクター固有のメニュー



⑥ ショートカット設定

[ショートカット設定]タブを表示した状態で[環境設定]ウィンドウを表示します。

⑦ キャラクター

全キャラクターの表示・非表示を選択指定できます。

⑧ 倍率

全キャラクターの表示サイズの倍率 (50%~ 200%)を変更できます。100% が初期値です。

⑨ 不透明度

全キャラクターの不透明度 (10%~100%) を変更できます。100% が初期値です。

10 ミュート

この項目にチェックが付いていると本製品のサウンドが OFF になります。チェックをはずすとサウンドが ON になります。

常に手前に表示

この項目にチェックが付いていると、全キャラクターをウィンドウの最前面に表示します。チェックをはずすと 通常状態に戻ります。

12 音声認識

この項目にチェックが付いていると、音声認識が有効になります。チェックをはずすと音声認識は無効になりま す。音声認識が有効でも、キャラクターが非表示の場合は音声認識は機能しません。

(13) スタートアップに登録

この項目にチェックを付けると、本製品への[ショートカット]を Windows の[スタートアップフォルダ]に 作成します。チェックを外すと[ショートカットファイル]を削除します。

(14) ヘルプ

本製品の [readme] テキストや [PDF マニュアル] (本書)、[バージョン情報] 等を選択表示できます。また、[製品登録] を選択すると [製品登録] をするためのダイアログが表示されます。

(15) アプリを終了

本製品を終了します。

3.3.2 ポップアップメニューを表示する

ポップアップメニューはキャラクター上で右クリックすることで表示されます。このポップアップメニューで 様々な項目を設定・変更できます。また、キャラクターを全て非表示にしてしまった場合等は、デスクトップ右 下のシステムトレイにある本製品のアイコン上を右クリックすることで、いつでもポップアップメニューを表示 できます。

3.4 時報機能

時報機能は指定した間隔で時間をお知らせしてくれる機能です。作業時間に制限がある場合や一定の間隔で時間 を知りたい場合等にご利用下さい。

※時報はドラッグ中やメニュー表示中等のイベント時には通知されません。

3.4.1 時報の間隔を設定する

ポップアップメニューで [時報の間隔] を選択することで、1 時間を指定間隔で刻んで時刻をお知らせしてくれ ます。例えば 15 分を選択すると -> 17:00 -> 17:15 -> 17:30 -> 17:45 -> 18:00 -> の様に 15 分間隔 でお知らせしてくれます。

※この項目は特定のキャラクターのメニューにだけ表示されます。

※時報を報告するキャラクターが非表示の場合、時報機能は無効になります。

3.5 音声コマンド一覧を表示する

ポップアップメニューの[音声コマンド一覧]項目をクリックすることで音声認識を利用するための音声コマンド一覧がバルーン(吹き出し)で表示されます。 ※この項目は特定のキャラクターのメニューにだけ表示されます。

3.6 音声認識ログパネルを表示する

ポップアップメニューの[音声認識ログパネル]項目をクリックしてチェックを付けると音声認識された文字列 を確認できるウィンドウが表示されます。

※この項目は特定のキャラクターのメニューにだけ表示されます。

3.7 [環境設定]ウィンドウを表示する

ポップアップメニューの[環境設定]項目をクリックすると[環境設定]ウィンドウが表示されます。[環境設定] ウィンドウでは様々な設定をすることが出来ます(詳細は「4 章 環境設定」を参照して下さい)。

[ショートカット設定]項目をクリックすると[ショートカット設定]タブを表示した状態で[環境設定]ウィンドウが表示されます。

※上記2つの項目は特定のキャラクターのメニューにだけ表示されます。

3.8 キャラクターの表示・非表示を切り替える

ポップアップメニューのキャラクター名をクリックすることでキャラクターの表示・非表示を切り替えることが 出来ます。キャラクター名にチェックが付いているとキャラクターは表示され、チェックをはずすとキャラクター は非表示になります。

非表示のキャラクターを再表示したい場合は、他の表示中のキャラクターを右クリックしてポップアップメ ニューを表示させ、キャラクター名をクリックすることでキャラクターを再表示できます。全てのキャラクター が非表示の場合は、デスクトップ右下のシステムトレイにある本製品のアイコン上を右クリックしてポップアッ プメニューを表示させ、キャラクター名をクリックすることでキャラクターを再表示できます。

3.9 音声をミュート(消音)設定する

ポップアップメニューの[ミュート]項目をクリックしてチェックを付けると本製品の音声をミュート(消音) 設定にすることが出来ます。再び音声を鳴らしたい場合は、再度クリックしてチェックを外して下さい。

3.10 キャラクターを常に手前に表示する

ポップアップメニューの [常に手前に表示] 項目をクリックしてチェックを付けると、本製品の全キャラクター が常に他のウィンドウより手前に表示されるようになります。再度クリックしてチェックを外すと通常状態に戻 ります。

※他のウィンドウが手前に来ることもあります。

3.11 表示倍率を変更する

ポップアップメニューから倍率 (50% ~ 200%) を選択することでキャラクターの表示倍率を変更できます。好 みのサイズに変更してご利用ください。

3.12 不透明度を変更する

ポップアップメニューから不透明度 (10% ~ 100%) を選択することでキャラクター表示の不透明度を変更できます。好みの不透明度に変更してご利用ください。

3.13 音声認識を有効にする

ポップアップメニューの [音声認識] 項目をクリックしてチェックを付けることで、音声認識を有効にすること が出来ます。再度クリックしてチェックを外すと、音声認識は無効になります。 ※詳細は「5.1 音声認識の利用方法」を参照して下さい。

3.14 スタートアップに登録して OS 起動時に起動させる

ポップアップメニューの[スタートアップに登録]項目をクリックしてチェックを付けると、本製品への[ショートカット]を Windows の[スタートアップフォルダ]に作成して、OS 起動時に本製品を起動させるように設定します。

再度クリックしてチェックを外すと[ショートカットファイル]を削除して設定を解除します。

3.15 その他情報の表示・製品登録について

ポップアップメニュー[ヘルプ]の各項目を選択することで、[製品登録]ダイアログや[readme]テキスト、[PDF マニュアル](本書)、[バージョン情報]ダイアログを表示することが出来ます。

3.15.1 製品登録をする

無料体験版・機能制限版をご利用の場合、[製品登録]項目をクリックすると[製品登録]ダイアログ(下図) が表示されます。[製品登録]ダイアログでシリアル番号を入力し、[登録]ボタンを押すことで製品登録を行 うことが出来ます。以降、製品版としてご利用いただけます。

製品登録	×
製品登録 シリアル番号を入力して「登録」ボタンをクリックして下さい。	
シリアル番号:	
無料体験期間終了まで後 30 日です。	
登録 キャンセル	

3.16 本製品を終了する

ポップアップメニューの [アプリを終了]項目をクリックすると本製品が終了します。

音声認識が有効になっている場合は「(キャラクター名)、アプリを終了して。」と話しかけるだけで本製品を終 了することが出来ます。

4章 環境設定

[環境設定]ウィンドウでは音声認識で起動するアプリケーションの登録やショートカット設定、マクロの追加 等、様々な設定を行うことが出来ます。

4.1 設定画面の切り替え

4.1.1 各部名称

ダイアログ上部にある各タブをクリックすることで、対応する設定画面が表示されます。

🔷 環境設定	2	
基本設定	ショートカット設定	マクロ設定
1	2	3

① [基本設定]タブ

クリックすると音声認識で起動するアプリケーションの設定を行う[基本設定]画面が表示されます。

② [ショートカット設定] タブ

クリックすると各音声コマンドにショートカットキーやマクロの割当を行う[ショートカット設定]画面が表示 されます。

③ [マクロ設定]タブ

クリックするとマクロの追加・削除等の管理を行う[マクロ設定]画面が表示されます。

4.1.2 タブに表示される「*」について

設定を変更するとタブの右側に「*」が表示されます。これは[保存]ボタンをクリックして変更内容が保存 されるまで表示され続けます。また、「*」が表示された状態でタブを切り替えようとすると設定を保存するか を確認するポップアップウィンドウが表示されます。設定を保存する場合は[OK]ボタンを、保存しない場合は [キャンセル]ボタンをクリックして下さい。

🔷 環境設定		
基本設定* ショートカット設定	マクロ設定	

4.2 基本設定

[基本設定]では音声認識で起動するアプリケーションの設定、アプリケーションを起動するための音声コマンドの追加・編集等を行うことが出来ます。

また、アプリケーションをプロファイル登録することでショートカット設定をアプリケーション毎に設定できる ようになり、登録したアプリケーションがアクティブ(選択状態)になるとショートカット設定が自動で切り替 わります。プロファイル*1は最大2件まで登録できます。*2

ここでは [基本設定]の各ボタンの機能やアプリケーションの設定方法等を解説しています。

4.2.1 各部解説

◎ 環境設定	×
基本設定 ショートカット設定 マクロ設定	
実行ファイルパス	保存 (1)
●	ок (2)
フ ブラウザーへのバス: 金融	++)th 3
8 メーラーへのパス: 8 メーラーへのパス: 第二	読み込み (4) 書き出し (5)
<u><u>Sth</u></u>	
プロファイル アプリケーション 100 参照 アプリケーション[1]番 アプリケーション[2]番 10 周期	

①[保存]ボタン

クリックすると [基本設定]の変更内容を保存します。

② [OK] ボタン

クリックすると[基本設定]の変更内容を保存してダイアログを閉じ、設定を本製品に反映させます。

③ [キャンセル] ボタン

クリックすると [基本設定]の変更内容を取り消してダイアログを閉じます。

④[読み込み]ボタン

クリックするとファイル指定ダイアログが表示されます。設定が保存されたファイルを選択することで、ファイルから[基本設定]を読み込むことが出来ます。[OK]または[保存]ボタンをクリックするまで変更は保存されません。

*2 機能制限版の最大登録数は1件です。

^{* 1} プロファイルとはアプリケーション毎の設定の事を言います。

⑤[書き出し]ボタン

クリックするとファイル保存ダイアログが表示されます。保存場所を選択して、現在の[基本設定]をファイル に書き出し保存(バックアップ)することが出来ます。

⑥[ペイントソフトへのパス]

ショートカットキー入力を送信したいアプリケーションの実行ファイルパスを設定します。ショートカットキー 入力の音声コマンドはこの項目を設定しないと使用することはできません。右にある[参照]ボタンをクリック すると、ファイル選択ダイアログが開きます。また、ラベルの左にある[アプリ起動音声コマンド編集]ボタン をクリックするとラベル編集や音声コマンド文を追加することが出来る[コマンド編集]ダイアログが開きます。

⑦ [ブラウザへのパス]

音声認識で起動するブラウザの実行ファイルパスを設定します。右にある[参照]ボタンをクリックすると、ファ イル選択ダイアログが開きます。ラベルの左にある[アプリ起動音声コマンド編集]ボタンをクリックすると[コ マンド編集]ダイアログが開きます。

⑧ [メーラーへのパス]

音声認識で起動するメーラーの実行ファイルパスを設定します。右にある[参照]ボタンをクリックすると、ファ イル選択ダイアログが開きます。ラベルの左にある[アプリ起動音声コマンド編集]ボタンをクリックすると[コ マンド編集]ダイアログが開きます。

⑨ プロファイル編集エリア

プロファイル登録されたアプリケーションを一覧表示します。リストビューの左上にある[アプリ起動音声コマンド編集]ボタンをクリックするか[プロファイル]カラムをダブルクリックすると[コマンド編集]ダイアログが開きます。

⑩ [参照] ボタン

プロファイル登録するアプリケーション(の実行ファイル)を選択するためのファイル選択ダイアログが開きます。

①[削除]ボタン

プロファイル登録されたアプリケーション情報を削除します。

● [コマンド編集]ダイアログ各部解説

[基本設定]で[アプリ起動音声コマンド編集]ボタンをクリックすると表示される[コマンド編集]ダイアロ グでは、アプリケーションを起動する音声コマンド文の追加・編集や表示ラベルの編集、コマンド実行時にバルー ン(吹き出し)に表示されるメッセージの編集等をすることが出来ます。

● コマンド編集	Х
ラベル * ① ペイントソフト メッセージ ② ペイントソフトを起動したの 音声コマンド 命令: ④ 読み: ⑤ 除外: ⑥ ⑦ ① ④ ③ 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	
ОК + +>tzル (13) (14)	

① [ラベル]

[基本設定]で表示されるラベル文字列を設定します。

② [メッセージ]

コマンド実行時に表示されるバルーンのメッセージ文字列を設定します。バルーンに表示できる最大文字数は全角で約42文字です。

③ 音声コマンド文編集エリア

音声コマンド文の追加・編集を行う領域です。

④[命令]

音声コマンド文を全角文字で設定します。息継ぎは全角「、」を使用して下さい。

⑤[読み]

音声コマンド文の読み方を全角ひらがなで設定します。息継ぎは全角「、」を使用して下さい。

⑥[除外]

コマンド判定時に含んではいけない単語を半角「|」で区切って設定します。音声認識時に設定された単語が含 まれている場合は、命令文が一致してもコマンドは実行されません。

⑦ 音声コマンド文リストビュー

追加された音声コマンド文が表示されるリストビューです。このリストビューに表示されている音声コマンド文 を選択すると、内容が [命令][読み][除外]にそれぞれ表示されます。

⑧[追加]ボタン

クリックすると [命令][読み][除外]に設定した内容をリストビューに追加します。

⑨[削除]ボタン

クリックするとリストビューで選択している音声コマンド文を削除します。

⑩ [上書き] ボタン

クリックすると [命令][読み][除外]に設定した内容をリストビューで選択された音声コマンド文に上書きします。

①[上へ移動]ボタン

クリックすると選択している音声コマンド文の表示位置を一つ上に移動します。

12[下へ移動]ボタン

クリックすると選択している音声コマンド文の表示位置を一つ下に移動します。

13 [OK] ボタン

クリックすると変更内容を確定してダイアログを閉じます。 ※保存はされていません。

(4) [キャンセル]ボタン

クリックすると変更内容を取り消してダイアログを閉じます。

4.2.2 アプリケーションへのパスを設定する

左下図の[参照]ボタンをクリックすると右下図のファイル選択ダイアログが表示されます。ショートカットキー 入力を送信したいアプリケーションの実行ファイルを選択してから[開く]ボタンをクリックすることで、実行 ファイルパスを設定できます。

	EXEC	ファイルを指定				×
Q 環境設定	<i>~</i>	→ · ↑ 📙 « C	IP STUDIO 1.5 > CLIP STUDIO PAINT >	V Ö CLIP S	JTUDIO PAINTの検索	,p
基本設定 ショートカット設定 マクロ設定	99	理 マ 新しいフォルダー			. · ·	. 0
車 行ファイルパス		🕈 クイック アクセス	名前 ^	更新日時	種類ファイルフォルダー	サイズ
	4	ConeDrive	glcheck	2017/07/31 13:27	ファイル フォルダー	
		PC	init kindlegen	2019/03/05 17:32 2019/03/05 17:32	ファイル フォルダー ファイル フォルダー	
		🎐 ネットワーク	- Plugin	2016/07/16 13:02	ファイル フォルダー	
/ ブラウザーへのパス:			scan	2018/04/28 23:43 2019/03/05 17:32	ファイル フォルダー ファイル フォルダー	
参照			Settinas	2016/07/16 13:02	ファイル フォルダー	_
			CLIPStudioPaint.exe	2019/03/04 0:00	アプリゲーション	64
/ メーラーへのパス:			 mti.exe 	2017/06/09 0:00	アプリケーション	
参照			<			3
		774.	レ翁(N): CLIPStudioPaint.exe	~ EXE7	アイル(*.EXE)	\sim
				1 H	く(0) 🚽 キャンさ	zılı

下図の様にテキストボックスのアドレスの入力を確認してから、[保存]ボタンをクリックすることで設定が保存されます。ブラウザやメーラーのパスも同様に設定することで音声認識で起動できるようになります。

◎ 環境設定	×
基本設定* ショートカット設定 マクロ設定	
実行ファイルパス ペインやンロトへのパス・ C*Program Files¥CELSYS¥CLIP STUDIO 15¥CLIP STUDIO PAINT¥CLIPStudi 参照 プラウザーへのパス:	(保存 のK キャンセル
参照	読み込み

実行ファイルパスの例(64bit 環境)*3

• CLIP STUDIO PAINT :

C:\Program Files\CELSYS\CLIP STUDIO 1.5\CLIP STUDIO PAINT\CLIPStudioPaint.exe

• Adobe Photoshop :

C:\Program Files\Adobe\(ご利用バージョン)\Photoshop.exe

• Adobe Illustrator :

C:\Program Files\Adobe\(ご利用バージョン)\Support Files\Contents\Windows\Illustrator.exe

・ペイントツール SAI:

C:\PaintToolSAI\sai.exe

• Google Chrome :

C:\Program Files (x86)\Google\Chrome\Application\chrome.exe

• Microsoft Edge : * 4

microsoft-edge:

Mozilla Firefox :

C:\Program Files\Mozilla Firefox\firefox.exe

Mozilla Thunderbird :

C:\Program Files (x86)\Mozilla Thunderbird\thunderbird.exe

```
*3 インストール時の設定によって必ずしも記載場所に実行ファイルが存在するとは限りません。
```

* 4 ブラウザの「Microsoft Edge」は実行ファイルパスを指定しても起動できません。「microsoft-edge:」の様に設定す ることで「Microsoft Edge」を起動することができます。

4.2.3 アプリケーションをプロファイル登録する

左下図(プロファイル編集エリア)の①の領域(プロファイルカラム)をクリックして②の[参照]ボタンをク リックするか、③の領域(アプリケーションカラム)をダブルクリックすることで、右下図のアプリケーション (の実行ファイル)を選択するための選択ダイアログが開きます。

右下図の様にプロファイル登録したいアプリケーションの実行ファイルを選択してから [開く] ボタンをクリッ クすることで、指定のアプリケーションをプロファイル登録できます。



下図の様にアプリケーションがプロファイル登録されたことを確認してから[保存]ボタンをクリックすること で設定が保存されます。アプリケーションをプロファイル登録することで個別にショートカットを設定したり、 音声認識で起動できるようになります。

※詳細は「4.3 ショートカット設定」を参照して下さい。

✓ ペイントソフトへ C¥Program Files¥CI ✓ ブラウザーへの	Dバス: LSYS¥CLIP STUDIO 1.5¥CLIP STUDIO PAINT¥CLIPStud]	参照	^{兼存} OK ・ンセル
 メーラーへのパ 	ζ: 		み込み き出し
-			

4.2.4 プロファイル登録したアプリケーションを削除する

プロファイル登録されたアプリケーションを削除するには、削除したいアプリケーションを選択してから[削除] ボタンをクリックして下さい。アプリケーションの実行ファイル名が削除されて空欄になります。



4.2.5 アプリケーションを起動するための音声コマンド文を追加する

下図の[アプリ起動音声コマンド編集]ボタンをクリックすると[コマンド編集]ダイアログが表示されます。 プロファイル編集エリアにあるアプリケーションに音声コマンド文を追加する場合は、アイテムを選択して、[ア プリ起動音声コマンド編集]ボタンをクリックするかプロファイルカラムをダブルクリックして下さい。 ここでは①([ブラウザーへのパス])を押しています。

東ロジアセルバス 「マイントソフトへのパス: [C#Program FilesYCELSYS¥CLIP STUDIO 1.5¥CLIP STUDIO PAINT¥CLIPStudi]	参照
C#Program Files (x86)#Google#Chrome#Application#chrome.exe	参照
	参照
プロファイル アプリケーション アプリケーション[1]番 アプリケーション[2]番	参照 削除

下図の①では[基本設定]で表示されるラベル文字列を、②では音声コマンド実行時にバルーンに表示されるメッ セージを設定します。③では音声コマンド文とその読み方を入力してから④の[追加]ボタンをクリックして音 声コマンド文を追加します(詳細は「5.3 音声コマンド文の記述方法」を参照して下さい)。設定が完了したら ⑤の[OK]ボタンを押してダイアログを閉じます。

● コマンド編集	×
ラベル* ① Google Ghrome メッセージ ② Google Ghromeを起動したの 音声コマンド ③ 命令: クローム起動して 読み: (ろーむきどうして) 除外:	+@
クローム起動して<<さーむきどうして> (5) (6) (7) (5) (7) (5) (7) (5) (7) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	 ▲ ▼

下図の様にラベルが変更されているのを確認してから、[保存]ボタンを押して設定を保存して下さい。[環境 設定]ウィンドウを閉じると追加した音声コマンド文が有効になります。

◎ 環境設定	×
基本設定* ショートカット設定 マクロ設定	
実行ファイルパス ペイントソフトへのパス: C*Program FilesWCELSYS¥CLIP STUDIO 1.5%CLIP STUDIO PAINT¥CLIPStudi Google Ghromeへのパス C*Program Files (x8b)¥Google¥Chrome¥Application¥chrome.exe メーラーへのパス:	(保存 OK キャンセル 読み込み 書き出し

4.2.6 基本設定をファイルに保存(バックアップ)する

[書き出し]ボタンをクリックするとファイル保存ダイアログが表示されます。ファイル保存ダイアログの[保存]ボタンをクリックすると現在の設定をファイルに保存することができます。編集したラベル情報や音声コマンド文等も保存されます。

※ファイル名は任意で、拡張子は .ctpl となります。

また記念 シューケカット総定 マンロ設定 またつかった以 マンロ設定 またつかった以 マンロシン 「アリケームシン(ス): 「アリケームシン(ス): アリケームシン(ス):	◎ 環境設定	×	ファイルを保存	×
RT 27 1/4 1/2 (4 / 4 / 27 / 4 / 4 / 2 / 5 / 100 / 180/LP STUGD FANIFICUPSud (2 / 17 / 100 / 180/LP STUGD FANIFICUPSud (2 / 17 / 100 / 180/LP STUGD FANIFICUPSud (1 / 17 / 100 / 180/LP STUGD FANIFICUPSud (1 / 17 / 100 / 180/LP STUGD FANIFICUPSud (1 / 17 / 100 / 180/LP STUGD FANIFICUPSud (1 / 17 / 100 / 180/LP STUGD FANIFICUPSud (1 / 17 / 100 / 180/LP STUGD FANIFICUPSud (1 / 180/LP STUGD FANIFICUPSud	基本設定 ショートカット設定 マクロ設定			✓ ひ D Backupの検索
ペイントワトへのパス: ●	実行ファイルバス	Ŧ	整理 マ 新しいフォルダー	III • 👔
プロファイル アブリア-ション プロファイル アブリア-ション(1) アンリーション(1) Photodologuese アブリア-ション(2) Photodologuese アブリア-ション(2) Photodologuese アブリーション(2) Photodologuese アナイルの信頼(1): 基本設定)(-cpt)	ペイントンラトヘクル(ス: (Vifneram Fixed)CESS(SKUE) FSTUDIO 1960LP STUDIO PANTHOLIPSNA) ●医 / ブラウザーヘのパス: ●E メーラーヘクル(ス: ●E		★ 24/97 79世ス ▲ OnDive ■ PC ◆ キットワーク	、 更新日時 種類 步 被服品件に一致す3項目はありません。
970 to 10	プロファイル アプリケーション アプリアニクシン(1)巻 Filodozogowe アプリケーション(2)巻 アプリケーション(2)巻		< 77パル点(N): Basic Template.ctpl 77パルの確項(T): 基本指定(*.ctpl)	>

4.2.7 基本設定をファイルから読み込む

[読み込み]ボタンをクリックするとファイル指定ダイアログが表示されます。ファイル指定ダイアログでバックアップファイル(拡張子が.ctplまたは.cnf)を選択して[開く]ボタンをクリックして下さい。

〇 環境設定	×	ファイルを指定	×
			✓ ひ シ Backupの検索
実行ファイルバス	保存	整理 マ 新しいフォルダー	III 🕶 💷 😢
ペントソントへのパス: 参照	ок =+>>tzル	★ クイック アクセス ▲ OneDrive	更新日時 種類 サ- 2019/12/18 12:53 CTPL 7p-()
	(読み込み) 書き出し		
プロファイル アプリケーション アプリケーション(1)音 アプリケーション(2)音 アプリケーション(2)音		< 77f Jk-%(N): BasicTemplate.ctpl	→

バックアップファイルを読み込むと設定が反映されますので[保存]ボタンをクリックして変更を保存して下さい。

4.3 ショートカット設定

[ショートカット設定]では音声コマンド(詳細は「5.2.1 音声コマンドについて」を参照して下さい)にショートカットキーを設定することや音声コマンドの追加・編集等をすることが出来ます。追加された音声コマンド等はコマンドテンプレート*5として[書き出し][読み込み]をすることが出来ます。ショートカットキー情報はアプリケーション毎に個別で[書き出し][読み込み]出来ます。

割り当て済みの音声コマンドを発話すると対応するショートカットーキー入力が指定のアプリケーションに送信 されます。また、[基本設定]でアプリケーションが複数登録されている場合は、各アプリケーションごとにショー トカットキーを設定することが出来ます。

ここでは[ショートカット設定]の各ボタンの機能やショートカットキーの設定方法、また設定の[書き出し][読 み込み]方法等を解説しています。

4.3.1 各部解説



①[保存]ボタン

クリックすると[ショートカット設定]の変更内容を保存します。

② [OK] ボタン

クリックすると[ショートカット設定]の変更内容を保存してウィンドウを閉じ、設定を本製品に反映させます。

③ [キャンセル] ボタン

クリックすると[ショートカット設定]の変更内容を取り消してウィンドウを閉じます。

^{*5} コマンドテンプレートとは音声コマンドや表示ラベル、リストビュー構造等をまとめた情報の事を言います。この情報 は全てのプロファイルで共有され、ショートカットキー情報とは別で管理されます。

④ プロファイルリスト

クリックするとプロファイル登録されたアプリケーションが一覧表示されます。設定を変更したいアプリケー ションを選択することで、内容を編集できます。

⑤ ショートカット編集エリア

音声コマンドに対応したショートカットキー情報の表示・編集や音声コマンドの追加・編集、コマンドテンプレートの[書き出し][読み込み]等をすることが出来ます。

⑥[マクロ割当]ボタン

クリックすると選択中の音声コマンドにマクロを割当てます。

⑦[編集]ボタン

クリックすると選択中の音声コマンドに対応したショートカットキーの編集モードに入ります。

⑧[削除]ボタン

クリックすると選択中の音声コマンドに対応したショートカットキー情報を削除します。

⑨[全て削除]ボタン

クリックすると現在選択されているプロファイルのショートカットキー情報を全て削除します。

⑩ [読み込み] ボタン

クリックするとファイル指定ダイアログが表示されます。設定が保存されたファイルを選択することで、ファイ ルからショートカットキー情報を読み込むことが出来ます。[OK] または [保存] ボタンをクリックするまで変 更は保存されません。

①[書き出し]ボタン

クリックするとファイル保存ダイアログが表示されます。保存場所を選択して、現在のショートカットキー情報 をファイルに書き出し保存(バックアップ)することが出来ます。

① [グループラベル追加] ボタン

クリックするとグループラベル追加ダイアログが表示されます。

13[コマンド追加]ボタン

クリックするとコマンド追加ダイアログが表示されます。

⑭ [アイテム削除] ボタン

リストビューで選択されたアイテム(グループラベル・コマンドアイテム)を削除します。グループラベルを削 除した場合、グループに含まれるコマンドアイテムは全て削除されます。

① [アイテム編集]ボタン

リストビューでアイテム(グループラベル・コマンドアイテム)を選択してからクリックするとアイテム編集ダ イアログが表示されます。

166 [アイテムを上へ移動] ボタン

クリックすると選択しているアイテムの表示位置を一つ上に移動します。

①[アイテムを下へ移動]ボタン

クリックすると選択しているアイテムの表示位置を一つ下に移動します。

18 [コマンドテンプレート読込]ボタン

クリックするとファイル指定ダイアログが表示されます。設定が保存されたファイルを選択することでファイル から[コマンドテンプレート]情報を読み込むことが出来ます。[OK]または[保存]ボタンをクリックするま で変更は保存されません。

19 [コマンドテンプレート書出]ボタン

クリックするとファイル保存ダイアログが表示されます。保存場所を選択して、現在の[コマンドテンプレート] 情報をファイルに書き出し保存(バックアップ)することが出来ます。

● [グループラベル追加][グループラベル編集] ダイアログ各部解説

[グループラベル追加][グループラベル編集] ダイアログでは、それぞれリストビューに表示されるグループのラベルを追加・編集出来ます。

曼 グループラベル編集	×
ID *	
0	
ラベル *	
2	
3 4	

① [ID]

重複しない識別子(ID)を設定します。入力に使用できる文字は半角英数字と半角アンダースコア(_)です。

②[ラベル]

リストビューに表示されるラベルを設定します。

③ [OK] ボタン

クリックすると変更内容を決定してウィンドウを閉じます。

④ [キャンセル] ボタン

クリックすると変更内容を取り消してウィンドウを閉じます。

● [コマンド追加][コマンド編集] ダイアログ各部解説

[コマンド追加][コマンド編集]ダイアログでは、音声コマンド文の追加・編集やキー入力タイプの設定、リストビューに表示される音声コマンドのラベルやコマンド実行時に表示されるバルーンメッセージの編集等が出来ます。

曼 コマンド編集	×
1D *]	
2)	繰り返し入力 ✓回数指定 ④
3	<u>キー入力</u> ☑押す ☑離す ⑤
音声コマンド 命令: ⑦ 読み: ⑧	 +
除外:⑨	
6	
(b) ロクリップボードにコピー	

① [ID]

重複しない識別子(ID)を設定します。入力に使用できる文字は半角英数字と半角アンダースコア(_)です。

②[ラベル]

[ショートカット編集エリア]のリストビュー(のコマンドカラム)に表示されるラベル文字列を設定します。

③ [メッセージ]

コマンド実行時に表示されるバルーンのメッセージ文字列を設定します。バルーンに表示できる最大文字数は全角で約42文字です。

④ [回数指定]チェックボックス

この項目にチェックを付けるとコマンド実行の繰り返し指定が可能になります。音声コマンドの前後に1回~ 10回までの回数を指定して発話すると、同じコマンドが指定回数実行されます。また、チェックが付いている 場合、[ショートカット編集エリア]のショートカットカラムに繰り返し記号が表示されます。 ※この設定はマクロ使用時には無効になります。

⑤ キー入力タイプチェックボックス

コマンド実行時のキー入力タイプを指定します。[押す][離す]両方にチェックを付けるとキーを押して離し ます(通常のキー入力)。[押す]だけにチェックを付けるとキーを押さえ続け、[離す]だけにチェックを付け るとキーを離します。どちらか一方だけにチェックを付けた場合は、[ショートカット編集エリア]のショート カットカラムに矢印記号([押す]なら上矢印記号、[離す]なら下矢印記号)が表示されます。 ※この設定はマクロ使用時には無効になります。

⑥ 音声コマンド文編集エリア

音声コマンド文の追加・編集を行う領域です。

⑦[命令]

音声コマンド文を全角文字で設定します。息継ぎは全角「、」を使用して下さい。

⑧[読み]

音声コマンド文の読み方を全角ひらがなで設定します。息継ぎは全角「、」を使用して下さい。

9[除外]

コマンド判定時に含んではいけない単語を半角「|」で区切って設定します。音声認識時に設定された単語が含 まれている場合は、命令文が一致してもコマンドは実行されません。

11 音声コマンド文リストビュー

追加された音声コマンド文が表示されるリストビューです。このリストビューに表示されている音声コマンド文 を選択すると、内容が [命令][読み][除外] にそれぞれ表示されます。

⑪[追加]ボタン

クリックすると [命令][読み][除外]に設定した内容をリストビューに追加します。

12[削除]ボタン

クリックするとリストビューで選択している音声コマンド文を削除します。

13 [上書き]ボタン

クリックすると [命令][読み][除外]に設定した内容をリストビューで選択された音声コマンド文に上書きします。

⑭ [上へ移動]ボタン

クリックすると選択している音声コマンド文の表示位置を一つ上に移動します。

15 [下へ移動]ボタン

クリックすると選択している音声コマンド文の表示位置を一つ下に移動します。

16 [クリップボードにコピー] チェックボックス

この項目にチェックを付けると音声コマンドが実行された時に認識された文字列が、システムのクリップボード にコピーされます。

① [OK] ボタン

クリックすると変更内容を確定してダイアログを閉じます。 ※保存はされていません。

18[キャンセル]ボタン

クリックすると変更内容を取り消してダイアログを閉じます。

● [コマンドテンプレート読込方法選択]ダイアログ各部解説

[コマンドテンプレート読込方法選択]ダイアログでは、コマンドテンプレートの読込方法を詳細に選択設定することが出来ます。[コマンドテンプレート読込]ボタンを押して、読み込むファイルを選択するとこのダイアログが表示されます。



①[通常]

既存のアイテムを全て削除して、読み込んだアイテムを設定します。

②[追加]

既存のアイテムを変更せず、ID が重複しないアイテムのみ追加します。

③[上書き]

読み込んだアイテムを追加していき、ID が重複するアイテムは上書き追加します。

④ [上書き時に既存の音声コマンド文を残す]チェックボックス

この項目にチェックを入れると、上書きされるアイテムの音声コマンド文を残して、上書きするアイテムの音声 コマンド文を追加します。チェックが外れていると上書きされるアイテムの音声コマンド文は削除され、上書き するアイテムの音声コマンド文で置き換えられます。

※[上書き]を選択している時のみチェックすることが出来ます。

⑤ [変更されたアイテムにショートカット設定も反映させる] チェックボックス

この項目にチェックを入れると、追加・上書きされたアイテムに読み込んだコマンドテンプレートアイテムに保 存されているショートカット設定も反映させます。変更が加えられなかったアイテムは元の設定が保持されます。

⑥ [OK] ボタン

クリックすると設定した内容でコマンドテンプレートを読み込みます。

⑦[キャンセル]ボタン

クリックするとコマンドテンプレートを読み込まずにウィンドウを閉じます。

4.3.2 ショートカットキーを設定する

下図①の領域 (コマンドカラム)をクリックして②の [編集]ボタンをクリックするか、③の領域 (ショートカットカラム)をダブルクリックすることでショートカットキーの編集モードに入ります。

ער <u>ק</u> דירק	ショートカット	マクロ割当	キャンセ
<pre>x→1</pre>	23 1/2/1		
「取り消して」	Ctrl+7	2 編集	
「切り取って」」「カット」	Ctrl+X	肖耶余	
「ジリネン(3」「バリフト3」 「ノピー」.7 」	Ctrl+C		
	Ctrl+V	全て削除	
「消去して。」 「削除して。」 「クリアー。」			
「塗りつふしく。」	Alt+Del		
「すべてを選択して。」 「全選択。」	Ctrl+A		
「選択を解除して。」 「選択解除。」	Ctrl+D		
「新規レイヤー。」 「レイヤーを追加(作成)して。」	Ctrl+Shift+N		
		読み込み	

編集モード中にキーボードのキーを押すと、下図の様にテキストボックスに押したキーが表示されます(ここで は「Delete」)。この時、Ctrl、Shift、Alt キー等の修飾キーを押しながら入力すると修飾キーも同時に設定さ れます。

 	-	
「やり直して。」	Ctrl+Y	ë।K≆
「切り取って。」 「カット。」	Ctrl+X	E OF OF
「コピーして。」	Ctrl+C	
「貼り付けて。」 「ペースト。」	Ctrl+V	全て削除
「消去して。」 「削除して。」 「クリアー。」	Del	
「塗りつぶして。」	Alt+Del	
「すべてを選択して。」 「全選択。」	Ctrl+A	
「選択を解除して。」 「選択解除。」	Ctrl+D	
「新規レイヤー。」 「レイヤーを追加(作成)して。」	Ctrl+Shift+N	
		読み込み

キーが表示されたら Enter キーを押すか、テキストボックス外をマウスでクリックすると下図のようにキーが 設定されます。 編集が完了したら [保存]ボタンをクリックして変更を保存して下さい。 ※変更内容は [OK] ボタンをクリックするまで反映されません。

環境設定		X
基本設定 ショートカット設定* マクロ設定		
プロファイル: ペイントソフト:CLIPStue	dioPaint.exe 🗸	保存
🦻 💺 — 🖊 🔺 🗣 🗗		ОК
אעדב	ショートカット	マクロ割当 キャンセル
▼ デフォルトメニュー		
「取り消して。」	Ctrl+Z	編集
「やり直して。」	Ctrl+Y	首北保全
「切り取って。」 「カット。」	Ctrl+X	11.0546
「コピーして。」	Ctrl+C	
「貼り付けて。」 「ペースト。」	Ctrl+V	全て削除
「消去して。」 「削除して。」 「クリアー。」	Del	
「塗りつぶして。」	Alt+Del	
「すべてを選択して。」 「全選択。」	Ctrl+A	
「選択を解除して。」」「選択解除。」	Ctrl+D	

4.3.3 ショートカットキーを削除する

キー情報を削除したい音声コマンドを選択して [削除] ボタンを押します。キー情報が削除されてショートカットカラムが空欄になります。

זייד	Sia−h†terk	マクロ劇当	キャンセル	איקר	ia-btwb	マクロ劇当
■ #T+U.by(T+=)	23 (107)			■ 57+1.5×1.5×1.5×1.5×1.5×1.5×1.5×1.5×1.5×1.5×	23 (10)1	
「取り道して」	() Ctrl+7	編集		(取り)消して、1	() (trl+7	編集
[60]a[.7.]	C) Ctrl+Y			Feb/jal.7.1	C) Ctrl+V	
「切り取って。」」「カット。」	Ctrl+X	N/DX		「切り取って。」」「カット。」	Ctrl+X	n los
138-LT.J	Ctrl+C			10E-LC. J	Ctrl+C	
FREU/HHZ III FW-ZE I	C41-34	全て削除			C.11-12	全て削除
「消去して。」 「削除して。」 「クリアー。」	Del			「消去して。」 「削除して。」 「	「クリアー。」	
CALL TO A L	111-011			12000001	Alt+Del	
「すべてを選択して。」 「全選択。」	Ctrl+A			「すべてを選択して。」 「全選択	Ctrl+A	
「遛択を解除して。」」「遛択解除。」	Ctrl+D			「選択を解除して。」 「選択解	除。」 Ctrl+D	
「新規レイヤー。」 「レイヤーを追加(作成)し	. J O Ctrl+Shift+N	182122		「新規レイヤー。」」「レイヤーを追	追加(作成)して。」 🕐 Ctrl+Shift+N	182122
		10000200				1009/209
		書き出し				書き出し

4.3.4 全てのショートカットキーを削除する

全てのショートカットキー情報を削除するには、[全て削除]ボタンを押します。全てのキー情報が削除されて ショートカットカラムが全て空欄になります。



4.3.5 マクロを割当てる

マクロを割当てたい音声コマンドを選択してから[マクロ割当]ボタンをクリックします。

ンド	ショートカット		キャンt
デフォルトメニュー			
「取り消して。」	O Ctrl+Z		
「ヤリ直して。」 「切り取って。」 「カット。」	Ctrl+X	肖川除	
「コピーして。」	Ctrl+C		
「貼り付けて。」 「ペースト。」	Ctrl+V	全て削除	
「消去して。」 「削除して。」 「クリアー。」	BackSpace		
「塗りつぶして。」	Alt+Del		
「すべてを選択して。」 「全選択。」	Ctrl+A		
「選択を解除して。」 「選択解除。」	Ctrl+D		
「新規レイヤー。」 「レイヤーを追加(作成)して。」	Ctrl+Shift+N		
	-	読み込み	
		書き出し	

左下図の[マクロ選択]ダイアログが表示されますので、割当てたいマクロ名を選択してから[OK]ボタンをク リックします。右下図の様に選択した音声コマンドにマクロが割当てられ、マクロ記号とマクロ名が表示されま す。

選択 ×	🦻 🔮 — 🖊 🔺 🖶 🕞	ی او
クロ名を選択してください。	→ マンド 	□マンド ショートカット ● デフォルトメニュー
	「取り消して。」	「取り消して。」 Macro:マクロ 1
	「切り取って。」「「カット。」	「切り取って。」「カット。」 Ctrl+Y
	「コピーして。」	「コピーして。」 Ctrl+C 「貼り付けて。」」「パースト。」 Ctrl+V
	「消去して。」 「削除して。」 「クリアー。」	「消去して。」」「削除して。」」「クリアー。」 BackSpace
	「塗りつぶして。」	「塗りつぶして。」 Alt+Del

クロル仔住しない場合は下国	図の様にマクロ名の元頭に	- X 印/小小さよ 9。	
V V V V V V V V V V V V V V V V V V V			ОК
אעקב	ショートカット	マクロ割当	キャンセル
▼ デフォルトメニュー			
「取り消して。」	💌 x Macro:マクロ 1	編集	
「やり直して。」		BIR ®	
「切り取って。」 「カット。」	Ctrl+X	HJBA	
ו דו_ערז	C+rl+C		
4.3.6 ショートカット設定をファイルに保存(バックアップ)する

[書き出し]ボタンをクリックするとファイル保存ダイアログが表示されます。ファイル保存ダイアログの[保存]ボタンをクリックすると現在の設定をファイルに保存することができます。 ※ファイル名は任意で、拡張子は.cnfとなります。

					ファイルを保存					2
🤜 🖶 🖊 🔺 🗶 🕞			OK		← → * ↑ 📕 > Pi	C > ドキュメント > Backup	ע ט Back	upの検索		P
אַעקב	ショートカット	マクロ割当	キャンセル		整理 ▼ 新しいフォルダー	-			8:: •	•
マクルトレビニー 「おり用して」 「やり直して」」「かりト」 「おり用でし」」「かりト」 「コピーレモ」」 「おしてし」」「「新して」」「(フアー」」 (注)っしてし」」「「新して」」「(フアー」」 (注)っしてし」」「新してし」」「クター」 (注)っして」」「注意用でし」」 「おでも用いて」」「注意用でし」」 「新用してヤー」」「レイヤーを追加(作用)して。」	O Ctrl+Z Ctrl+X Ctrl+X Ctrl+X Ctrl+C Ctrl+V BacKspace At+Col Ctrl+A Ctrl+D Ctrl+Shift+N	編集 新設 全て新時 保み込み 書き出し		+	 ・ オクイックアクセス ・ ・ ・	高市 へ にutSettings.cnf h为zh彼g(cnf)	更新日時 快衛条件仁一牧子3項目はありません。	锥须		ٿ
					▲ フォルダーの非表示			保存(S)	キャンセル	

4.3.7 ショートカット設定をファイルから読み込む

[読み込み]ボタンをクリックするとファイル指定ダイアログが表示されます。ファイル指定ダイアログでバックアップファイル(拡張子が.cnf)を選択して[開く]ボタンをクリックして下さい。

				i.	ファイルを指定			×
🤝 🏪 🖊 🔺 🗮 🕞			OK		← → ~ ↑	PC > ドキュメント > Backup	✓ ひ Backupの検索	P
אעדב	ショートカット	マクロ割当	キャンセル		警理 ▼ 新1.1.7±11/	4-	l≕ • □	0
▼ デフォルトメニュー						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Terms and terms	
「取り消して。」	Ctrl+Z	編集			📥 nxwn 7047	名前	更新日時 種類 5	517
「やり直して。」	Ctrl+Y	TIFE			A 717772A	ShortcutSettings.cnf	2019/05/26 16:19 CNF ファイル	
「切り取って。」」「カット。」	Ctrl+X				a OneDrive	<u> </u>		
DE-LC. J	Ctrl+C	0.000			 nc			
	Ctrl+V	主心的原			- PC			
「消去して。」「「削除して。」「「クリアー。」	Backspace				💣 ネットワーク			
「金り」(1000000000000000000000000000000000000	Alt+Del							
1977(11編5(6)(。」) 1主編5(。) 「2010年40101アート」「20104010」	CHILD							
「新聞レイヤー」 「レイヤーを追加(作成)」ア	Ctrl+Shift+N			· · · · ·				
	O carroancia	読み込み						
		書き出し						
						<		
				1	70		2.m. 1 + ++++++++++++++++++++++++++++++++	
					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	shortcutsettings.chr	✓ [98=[9]9[9202(100), 100)	-
							聞く(O) < キャンセル	

バックアップファイルを読み込むと設定が反映されますので[保存]ボタンをクリックして変更を保存して下さい。

4.3.8 プロファイルを切り替える

アプリケーション毎にショートカットを設定するには、プロファイルを切り替えて編集します。左下図の赤丸の 領域をクリックすると、右下図の様に [基本設定]でプロファイル登録されたアプリケーションがドロップダウ ンリストで表示されますので、ショートカットを編集したいプロファイルを選択して下さい。



選択したプロファイルの設定が読み込まれますので、編集を開始して下さい。

設定を変更後、保存せずにプロファイルを変更したり、タブを切り替えようとすると設定を保存するかを確認す るポップアップウィンドウが表示されます。設定を保存する場合は [OK] ボタンを、保存しない場合は [キャン セル] ボタンをクリックして下さい。

4.3.9 グループラベルを追加する

左下図の [グループラベル追加] ボタンをクリックします。表示された [グループラベル追加] ダイアログに重 複しない識別子(ID)とラベルを入力して。[OK] ボタンをクリックして下さい。 ※ ID 入力に使用できる文字は半角英数字と半角アンダースコア(_)だけです。 ※ ID とラベルの入力は必須です。



下図の様に新しく追加したグループラベルが表示されます。

🦻 🔮 — 🖊 🔺 🕂 🗗	
אַעדב	ショートカット
▼ MyTool ▼ デフォルトメニュー	
「取り消して。」	🖒 Ctrl+Z
「やり直して。」	🖒 Ctrl+Y
「切り取って。」 「カット。」	Ctrl+X
「コピーして。」	Ctrl+C

4.3.10 グループラベルを削除する

削除したいグループラベルを選択して左下図の[アイテム削除]ボタンをクリックします。確認ダイアログが表示されますので[OK]ボタンをクリックするとグループラベルが削除されます。



グループラベルを削除すると下図の様にグループに所属するコマンドも全て削除されます。



4.3.11 グループラベルを編集する

編集したいグループラベルを選択して左下図の[アイテム編集]ボタンをクリックします。表示された[グルー プラベル編集]ダイアログに設定したい値を入力して[OK]ボタンをクリックすると設定が反映されます。 ※既に存在する ID に変更することは出来ません。



4.3.12 グループラベルの表示位置を移動する

表示位置を移動したいグループラベルを選択して [上へ移動]ボタンまたは [下へ移動]ボタンをクリックしま す。下図の様にグループラベルが上下に移動されます。



4.3.13 音声コマンドを追加する

下図の様にコマンドを追加したいグループラベルまたはコマンドを挿入したい位置のコマンドを選択して[コマンド追加]ボタンをクリックします(ここではグループラベルを選択しています)。



表示された[コマンド追加]ダイアログ(下図)の各項目を設定します。①に重複しない識別子(ID)を、②は [ショートカット設定]のリストビューで表示されるラベル文字列を、③は音声コマンド実行時にバルーンに表 示されるメッセージを入力します。④のチェックは外します(キー入力の回数指定が必要ならチェックを付ける)。 ⑤では音声コマンド文とその読み方を入力してから⑥の[追加]ボタンをクリックして音声コマンドを追加しま す(詳細は「5.3 音声コマンド文の記述方法」を参照して下さい)。設定が完了したら⑦の[OK]ボタンを押し てダイアログを閉じます。

※ ID 入力に使用できる文字は半角英数字と半角アンダースコア(_) だけです。

※ ID とラベルの入力は必須です。

曼 コマンド追加	×
ID *	
ラベル * ② (水彩ブラン	繰り返し入力 回数指定 ④
メッセージ 3 林彩ブラメにしたの	キー入力 12押す 12離す
音声コマンド 命令: 水彩ブラシ 読み: すいさいぶらし	
除外: 水彩ブラン<すいさいぶらし>	
	\$
⑦ ====================================	

下図の様に新しく追加した音声コマンドが表示されます。



4.3.14 音声コマンドを削除する

削除したいコマンドを選択して左下図の [アイテム削除]ボタンをクリックします。確認ダイアログが表示されますので [OK] ボタンをクリックするとコマンドが削除されます。



4.3.15 音声コマンドを編集する

編集したいコマンドを選択して下図の[アイテム編集]ボタンをクリックするか選択したコマンドカラムをダブ ルクリックします。



表示された [コマンド編集] ダイアログで設定を追加・変更して [OK] ボタンをクリックすると新しい設定が反映されます。

● コマンド編集	Х
ID *	
ラベル* 繰り返し入力 水彩ブラシ 回数指定	
×ッセージ キー入力 水彩ブラバにたの	
 音声コマンド 命令: 透明水彩 読み: とーめーすいさい 	
除外:	
OK キャンセル	

4.3.16 音声コマンドの表示位置を移動する

表示位置を移動したいコマンドを選択して [上へ移動] ボタンまたは [下へ移動] ボタンをクリックします。下 図の様にコマンドが上下に移動されます。



4.3.17 音声認識された文字列をクリップボードにコピーする

[コマンド追加]または[コマンド編集]ダイアログを表示して、下図の①にシステムのクリップボードにコピー したい文字列(音声コマンド)を入力し、②にチェックを入れて [OK] ボタンをクリックします。

曼 コマンド追加		×
ID * NewCommand_2		
ラベル * レイヤー名貼り付け	繰り返し入力 □回数指定	
メッセージ レイヤー名を貼り付けたの	キー入力 11月1日 日離す	
音声コマンド 命令: 髪レイヤー 読み: かみれいやー 多外: 髪レイヤー<かみれいやー>	+	- - - -
 2 ✓ クリップボードにコピー 3 OK ++ンセル 	•	,

下図赤枠の様にクリップボード記号が表示されますので、ショートカットカラムにアプリケーション毎の「貼り 付け」に対応したショートカットキーを設定して下さい(ここでは Ctrl+V)。

🤝 🦣 — 🖊 🔺 🕂 🗗	•
אעדב	ショートカット
▼ テキストをクリップボードにコピーする	
レイヤー名貼り付け	Ctrl+V
▼ デフォルトメニュー	
「取り消して。」	Ctrl+Z

設定を保存して[環境設定]ウィンドウを閉じると、音声コマンドが実行された時に認識された文字列がシステムのクリップボードにコピーされ、設定されたショートカットキーによってアプリケーションに文字列が貼り付けられます。

※クリップボードへのコピーはマクロ使用時でも有効になります。

※[音声認識ログパネル]に表示されたテキストがそのままクリップボードにコピーされます。

4.3.18 コマンドテンプレートをファイルに保存(バックアップ)する

左下図の [コマンドテンプレート書出] ボタンをクリックするとファイル保存ダイアログが表示されます。ファ イル保存ダイアログの [保存] ボタンをクリックすると追加した音声コマンドや変更したリストビュー構造等の 情報をファイルに保存することができます。

※ファイル名は任意で、拡張子は.ctplとなります。



4.3.19 コマンドテンプレートをファイルから読み込む

[コマンドテンプレート読込]ボタンをクリックするとファイル指定ダイアログが表示されます。ファイル指定 ダイアログでバックアップファイル(拡張子が.ctpl)を選択して[開く]ボタンをクリックして下さい。 ※[基本設定]のバックアップファイルも拡張子が.ctplですが互換性はありません。



下図の様に[コマンドテンプレート読込方法選択]ダイアログが表示されますので、読込方法を選択して[OK] ボタンを押して下さい。ここでは[通常]を選択しています(選択項目の詳細は「[コマンドテンプレート読込 方法選択]ダイアログ各部解説」を参照して下さい)。



バックアップファイルを読み込むと設定が反映されますので[保存]ボタンをクリックして変更を保存して下さい。

4.4 マクロ設定

[マクロ設定]ではマクロの追加・削除等の編集・管理を行うことが出来ます。マクロとは特定の順番とタイミングで入力される連続したキー入力の組み合わせの事を言います。作成したマクロは[ショートカット設定]で 音声コマンドに割当てることが出来ます。

ここでは[マクロ設定]の各ボタンの機能やマクロの追加・削除等の編集方法を解説しています。

4.4.1 各部解説

環境設定				>
基本設定 ショートカット設定 マク	口設定			
₹/□-1 € + - / ▲ ▼ ? ? 8 9 10 11	₹75 + - / ▲ ▼ 10 18 19 20 20	 低 記録 2 	3	(保存 のK キャンセル 読み込み 書き出し (
 ○問題高を記録(3) ○問題高無し(4) ② 指定問題高を挿入(5) 問題高(ミリルシ): 30 マクロ(作成方法:))マクロー気にある(+)アイコンス マクロ回診表方法: シマクロの表示法: 	をクリックして、マクロ名を入力する。 同、「●印稿」マイン・水グリック」	ことでマクロを作成で	*±j.	
ジキニボニドやマウスのボるジャ 3)「■停止」アイコンをクリックす 編集終了後に[保存]又は[0K]ボ	約甲すことでキーストロニンが記録。 ることで記録が停止します。 ペシンをクリックすると設定が保存され	されていきます。(間) います。	副は30ミリ秒以上を推奨)	

①[保存]ボタン

クリックすると[マクロ設定]の変更内容を保存します。

② [OK] ボタン

クリックすると[マクロ設定]の変更内容を保存してウィンドウを閉じ、設定を本製品に反映させます。

③ [キャンセル] ボタン

クリックすると[マクロ設定]の変更内容を取り消してウィンドウを閉じます。

④[読み込み]ボタン

クリックするとファイル指定ダイアログが表示されます。設定が保存されたファイルを選択することで、ファイルから[マクロ設定]を読み込むことが出来ます。[OK]または[保存]ボタンをクリックするまで変更は保存 されません。

⑤ [書き出し]ボタン

クリックするとファイル保存ダイアログが表示されます。保存場所を選択して、現在の[マクロ設定]をファイルに書き出し保存(バックアップ)することが出来ます。

⑥ マクロ編集エリア

マクロ名の一覧表示やマクロの追加・削除等の編集を行う領域です。

⑦ [マクロ追加]ボタン

クリックすると新規追加するマクロの名前を入力するための[マクロ名入力]ダイアログが表示されます。 ※既に存在する名前のマクロを追加することは出来ません。

⑧ [マクロ削除]ボタン

クリックすると選択しているマクロが削除されます。

⑨ [マクロ名編集]ボタン

クリックすると選択しているマクロの名前を変更するための [マクロ名入力] ダイアログが表示されます。

⑩ [マクロを上へ移動]ボタン

クリックすると選択しているマクロの表示位置を一つ上に移動します。

①[マクロを下へ移動]ボタン

クリックすると選択しているマクロの表示位置を一つ下に移動します。

12 挿入間隔指定エリア

コマンド間に挿入する間隔の種類を選択指定する領域です。

13[間隔を記録]

実際にボタンを押している間隔を記録して挿入します。

(4)[間隔無し]

間隔は全て除外され挿入されません。 ※ボタン押下の間隔は短すぎると正常に動作しない場合があるので、後から間隔を挿入して下さい。

(15) [指定間隔を挿入]

予め指定された間隔を挿入します。30 ミリ秒以上を推奨。 ※間隔が短すぎると正常に動作しない場合があります。

16 マクロコマンド編集エリア

マクロコマンド*6の記録や追加・削除等の編集を行う領域です。

17 [コマンド挿入] ボタン

クリックすると[コマンド挿入]パネルが表示されます。

18 [コマンド削除] ボタン

クリックすると選択しているマクロコマンドが削除されます。

⑲ [コマンド編集] ボタン

クリックすると選択しているマクロコマンドを編集するための[コマンド編集]パネルが表示されます。

20[コマンドを上へ移動]ボタン

クリックすると選択しているマクロコマンドの表示位置を一つ上に移動します。

21 [コマンドを下へ移動]ボタン

クリックすると選択しているマクロコマンドの表示位置を一つ下に移動します。

22[記録]ボタン

クリックするとマクロコマンドの記録を開始して、押したボタンやキーストローク*⁷を記録します。記録中は[停止]ボタンに変わりますので、記録したい操作をしてから[停止]ボタンを押して記録を終了して下さい。

② 操作パネル表示エリア

[コマンド挿入]パネルや[コマンド編集]パネルが表示される領域です。

●[コマンド挿入]パネル各部解説

[コマンド挿入]パネルでは挿入するコマンドのキー情報や種類、挿入位置等を設定します。

① コマンド挿入位置選択リスト

新しく挿入するコマンドを選択コマンドの前と後どちらに挿入するか を選択する事ができます。

② キー情報設定ボタン

クリックするとキーの入力待ち状態になり、設定したいキーを押すと キー情報がボタンに表示されます。ここで設定されたキー情報がコマ ンドとして挿入されます。

③ [キーを押す] チェックボックス

この項目にチェックを入れると「キーを押す」コマンドが挿入されます。

④[間隔(ミリ秒)]チェックボックス

この項目にチェックを入れると右にあるテキストボックスで指定された「間隔」がコマンドとして挿入されます。

⑤[キーを離す]チェックボックス

この項目にチェックを入れると「キーを離す」コマンドが挿入されます。

⑥ [OK] ボタン

クリックすると設定を確定してコマンドを挿入して[コマンド挿入]パネルを閉じます。

⑦ [キャンセル] ボタン

クリックすると設定をキャンセルして[コマンド挿入]パネルを閉じます。

コマンド挿入
2 A
 ③ ユキーを押す ④ ゴ間隔(ジレ秒): [30 ⑤ ユキーを離す
6 OK 7 + vzi

●[コマンド編集]パネル各部解説

[コマンド編集]パネルでは選択しているマクロコマンドのキー情報や間隔等の設定を個別に変更します。コマンドの種類によって表示されるパネルが変わります。

① コマンドの種類

コマンドの種類が表示されます。種類は「キーを変更(押す)」「キー を変更(離す)」「間隔を変更」があります。

② キー情報設定ボタン

クリックするとキーの入力待ち状態になり、設定したいキーを押すと キー情報がボタンに表示されます。ここで設定されたキー情報に変更 されます。

③ [キーストロークに反映] チェックボックス

この項目にチェックを入れると、押す操作と離す操作で対応する一対 のキーストローク情報に変更を反映させます。チェックを外したり、 対応するキー情報が無い場合は選択中のコマンドのみ変更します。

④ [OK] ボタン

クリックするとコマンドに変更を反映させて[コマンド編集]パネル を閉じます。

⑤[キャンセル]ボタン

クリックすると編集をキャンセルして[コマンド編集]パネルを閉じます。

⑥[間隔(ミリ秒)]

コマンドの間隔を右にあるテキストボックスで指定された「間隔」に変更します。



コマンド編集 1 間隔を変更:
6 間隔(ミリ秒): 30
(4) OK (5) キャンセル

● [マクロ読込方法選択]ダイアログ各部解説

[マクロ読込方法選択]ダイアログでは、[マクロ設定]が保存されたファイルの読込方法を詳細に選択設定することが出来ます。[読み込み]ボタンを押して、読み込むファイルを選択するとこのダイアログが表示されます。

マクロ読込方法選択	×
読込方法	
① ● 通常 (読み込んだマクロを設定する)	
② 〕追加(名前が重複しないマクロのみ追加する)	
③○上書き(名前が重複するマクロは上書き追加する)	

①[通常]

既存のマクロを全て削除して、読み込んだマクロを設定します。

②[追加]

既存のマクロを変更せず、名前が重複しないマクロのみ追加します。

③[上書き]

読み込んだマクロを追加していき、名前が重複するマクロは上書き追加します。

④ [OK] ボタン

クリックすると設定した内容でマクロの設定を読み込みます。

⑤[キャンセル]ボタン

クリックするとマクロの設定を読み込まずにウィンドウを閉じます。

4.4.2 マクロを追加する

左下図の[マクロ追加]ボタンをクリックします。表示された[マクロ名入力]ダイアログにマクロ名を入力して[OK]ボタンをクリックして下さい。

※既に存在する名前のマクロを追加することは出来ません。



下図の様に新しく追加したマクロ名が表示されます。



4.4.3 マクロを削除する

削除したいマクロを選択して左下図の[マクロ削除]ボタンをクリックします。確認ダイアログが表示されますので[OK]ボタンをクリックするとマクロが削除されます。



4.4.4 マクロ名を編集する。

名前を編集したいマクロを選択して左下図の[マクロ名編集]ボタンをクリックします。表示された[マクロ名 入力]ダイアログに新しいマクロ名を入力して[OK]ボタンをクリックするとマクロ名が変更されます。 ※既に存在するマクロ名に変更することは出来ません。



4.4.5 マクロの表示位置を移動する

表示位置を移動したいマクロを選択して[マクロを上へ移動]ボタンまたは[マクロを下へ移動]ボタンをクリッ クします。下図の様にマクロが上下に移動されます。



4.4.6 マクロコマンドを記録する

左下図の様にマクロコマンドを記録したいマクロ名を選択して[記録]ボタンをクリックすると記録が開始され ます。記録開始後に押されたボタンやキーストロークは自動的に記録されます。記録を完了するには右下図の[停 止]ボタンをクリックして下さい。

※記録中は[停止]ボタン以外の編集ボタンはグレー表示となり使用不可になります。



下図の様にマクロコマンドの記録が完了されたのを確認してから、[保存]ボタンをクリックして設定を保存して下さい。

環境設定		×
基本設定 ショートカット設定	マクロ設定*	
基本設定 ショートカット設定 マクロー覧 + - / ▲ ▼ マクロー覧 (マクロー覧) マクロー覧 (マクロー覧) (マクロー) (マのロー) (マのロー) (マのロ) (マのロー) (マのロ) (マの) (マのロ) (マのロ) (マのロ) (マのロ) (マのロ) (マのロ) (マロ) (マのロ) (マの) (マロ) (マロ) (マロ) (マロ) (マロ) (マロ) (マロ) (((((((((((((((((((マクロ政定・ マクロマンド ・ Shift ② 30 ミリ珍 ◆ S ③ 30 ミリ珍 ◆ S ③ 30 ミリ珍 ◆ S ④ 30 ミリ珍 ◆ S ● S ● S ● S ● S ● S ● S ● S ●	(保存 OK キャンセル 読み込み 書き出し
マクロ記録方法: 1)マクロー覧からマクロ名を 2)キーボードやマウスのボ3 3)「■停止」アイコンをクリッ 編集終了後に[保存]又は[0	1選択し、「●記録」アイコンをクリックして下さい。 ジッを押すことでキーストロークが記録されていきます。(間隔晶は30ミリ秒以上を推奨) クすることで記録が停止します。 KJボタンをクリックすると設定が保存されます。	

4.4.7 マクロコマンドを挿入する

左下図の様にマクロコマンドを挿入したい位置にあるコマンドを選択して[コマンド挿入]ボタンをクリックします。右下図の様に[コマンド挿入]パネルが表示されますのでキー情報設定ボタンをクリックして下さい。

◎ 環境設定	×	◎ 環境設定	×
基本設定 ショートカット設定 マクロ設定		基本設定 ショートカット設定 マクロ設定	
2721-12 2721-17.0° 2721-17.0° 2245	(4年) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15)	マンローダ マンロマンダ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	保存 06 年代2010 (初分込み) 春辺出。
2)キーボードやウジスのおうた時下にとデモーンドローンが起換されていきます。(簡単ま2000)も以上を推定 2)「「申上」「ロングリングランで記録が申止します。 編集約7倍に保存121は2001代タンをソックすると設定が保存されます。		2)キーボードやうたのボタン使用ンゴビデキーストローンがな扱われて、使ます。(簡単は3000万化以上を確認) 3)「博士」アイロンを少いウギンとで認識が知らします。 編集時 7 倍に保存ID(は10(1代タンをクリックすると設定が保存されます。	

左下図の様にキーの入力待ち状態になりますので、設定したいキーを押して下さい。右下図の様に入力したキー 情報(ここでは「P」)が表示されますので、設定を確認して [OK] ボタンをクリックして下さい。

環境設定			×	環境設定	×
基本設定 ショートカット設定	マクロ設定			基本設定 ショートカット設定 マクロ設定	
マウロー社 + - / ▲ ▼ マクコ 「間塔を足終 「間塔を足終 「間塔を見 「間塔を見 「間塔の人 りがし、首の一	∀2CL37/F + + + 5 0 </th <th>コンド報入 通知コンドの部に導入 通知コンドの部に導入 牛ーを用して下ない ・キーを取す ・「開催(30.05): [日 ・キーを取す ・「開催(30.05): [日 ・キーを取す ・ ・キーを取す ・ 0x ++></th> <th> (47) ○K キャンセル (55)と56 第7回し </th> <th>マンピュアンド ★ → ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★</th> <th>マノド接入 道徳二マン代の初に持入 ↓ P 「おってとだの初に持入 ↓ P 「おってとだし 「おってただし 二 年ーを指す ○ 年 ーを指す ○ 年 ーを描す ○ 年 ーを描す</th>	コンド報入 通知コンドの部に導入 通知コンドの部に導入 牛ーを用して下ない ・キーを取す ・「開催(30.05): [日 ・キーを取す ・「開催(30.05): [日 ・キーを取す ・ ・キーを取す ・ 0x ++>	 (47) ○K キャンセル (55)と56 第7回し 	マンピュアンド ★ → ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★	マノド接入 道徳二マン代の初に持入 ↓ P 「おってとだの初に持入 ↓ P 「おってとだし 「おってただし 二 年ーを指す ○ 年 ーを指す ○ 年 ーを描す ○ 年 ーを描す
マクロ作成方法: 1)マクロー類にある(*)アイ: マクロー類にある(*)アイ: 2)マクロー類からマクロ名が 2)キーボードやマクスのが、 3)■「停止」アイコンをグリー 編集終了(約:00年7月又は00	ロンをクリックして、マクロ名を入力することでで 環境に、「●記録」アイコンをクリックして下き、 ジを見すことですーストロークが包括されて、 グすることで記録が早上します。 KHRSンをクリックすると認定が保存されます。	?クロを作成できます。 , 's , でます。(簡明者はNSJ/やに上を推発) 。		○グロ目的をお リングは一般にあるにしアインを少いうくして、マクロを色入りすることでやつをわれてき、 リングは一般にかったなを実際に、●のお約・ブーンを少いなしてきょ リングは一般にかったなを実際に、●のお約・ブーンを少いなしてきょ リンガーム・ドラングながり、学校にしていたながあられていきます。(問題 01 ■ りましアイニングロングラインとごを訪れています。)	たす。 2003/40以上を開設)

※コマンドの挿入位置を変更したい場合は、右図上のコマンド挿入 位置選択リストから挿入したい位置を選択して下さい。	- コマンド挿入 - 選択コマンドの前に挿入 - 選択コマンドの前に挿入 - 選択コマンドの前に挿入 - 選択コマンドの前に挿入 - 選択コマンドの後に挿入
※右図下の各チェックボックスを ON/OFF することで挿入するコ マンドを取捨択一できます。	 ✓ キーを押す ✓ 間隔(ミリ秒): 30 ✓ キーを離す

下図の様に設定したマクロコマンドが挿入されます。

○間時高老記録	77□-5 + - / ▲ ▼ 7701	マクロコマンド + - / ▲ ● 記録 P 2 30 51秒 1 5 5 Shift 2 30 51秒 4 S () 30 51秒 1 S () 30 51秒 1 Shift	(保存 OK キャンセル 読み込み 書き出し
● 指定間隔差挿入	 ● 間隔を記録 ● 間隔無し ● 指定間隔を挿入 		

4.4.8 マクロコマンドを削除する

削除したいマクロコマンドを選択して左下図の[コマンド削除]ボタンをクリックします。右下図の様にマクロ コマンドが削除されます。



4.4.9 マクロコマンドを編集する

● キーストロークを編集する

左下図の様に編集したいキーストロークに対応するキー入力コマンドを選択して[コマンド編集]ボタンをク リックします。右下図の様に[コマンド編集]パネルが表示されますのでキー情報設定ボタンをクリックして下 さい。

※コマンドの種類は「キーを変更(押す)」で解説していますが「キーを変更(離す)」でも手順は同じです。

○ 環境設定	×	◎ 環境設定		×
基本設定 ショートカット設定 マクロ設定		基本設定 ショートカット設定 マクロ設定		
マクローズ マクロマズ ・ ・ ・ <td< th=""><th>日存 ○C 4+2/100 (200) (20)</th><th>マクローゼ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</th><th>- アンド編集 - そ2次(作力):</th><th>21V</th></td<>	日存 ○C 4+2/100 (200) (20)	マクローゼ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- アンド編集 - そ2次(作力):	21V

左下図の様にキーの入力待ち状態になりますので、設定したいキーを押します。右下図の様に入力したキー情報 (ここでは「W」)が表示されますので、[キーストロークに反映]チェックボックスにチェックが入っているの を確認してから [OK] ボタンをクリックして下さい。

環境設定			×	 環境設定 	×
基本設定 ショートカット設定 う	クロ設定			基本設定 ショートカット設定 マクロ設定	
	▼ ▼ ● ■	 コマンド編集 キーを測定(下す): 年一を押して下さい ビーキークに扱き 	(译存 0K キャンセル 読み込み 書き出し	マクローダ マクロマン/* ● 72/* ### + - / ▲ ▼ ● 72/* ### ● 52/* ### ● 7 ● 302/* ## ● 72/* ### ● 7 ● 302/* ## ● 72/* ### ● 7 ● 302/* ## ● 72/* ### ● 302/* ## ● 302/* ## ● 72/* ### ● 302/* ## ● 302/* ## ● 72/* ### ● 302/* ## ● 302/* ## ● 72/* ### ● 302/* ## ● 302/* ## ● 72/* ### ● 302/* ## ● 302/* ## ● 72/* ### ● 302/* ## ● 302/* ## ● 72/* ### ● 302/* ## ● 302/* ## ● 72/* ### ● 302/* ## ● 302/* ## ● 72/* ### ● 302/* ## ● 302/* ## ● 72/* ### ● 302/* ## ● 302/* ## ● 72/* ## ● 302/* ## ● 302/* ## ● 72/* ## ● 302/* ## ● 302/* ## ● 72/* ## ● 302/* ## ● 302/* ## ● 72/* ## ● 302/* ## ● 302/* ## ● 72/* ## ● 302/* ## ● 302/* ## ● 72/* ## <t< th=""><th>(保存 OK キャンセル 読み込み 書き出し</th></t<>	(保存 OK キャンセル 読み込み 書き出し
 ● 接近開発を持入 ● 接近開発を持入 ● 接近開発を持入 ● (おないか): 20 ● マクロ申請方法: ● マクロー報があるもりアイニー ● マクロー報があるもりアイニー ● マクロー報があるものでのものあ ● マクロー報があるとのでのある ● 第一本上アイコンをグリック ■ ● 本上アイコンをグリック ■ ● 本上アイコンをグリック ■ ● 本上アイコンをグリック ■ ● 本上アイコンをグリック 	ペシックして、マクロ名を入力することでマクロを作い 「●の取了イン・ペンパク、下さ、 水学ディントン・「かない」 なってたるかがなります。 杯のシンクンナンと知道が存在されます。	い. +マンロル 成でさます。 (問題点:05:0秒以上を推奨)		● 確認問題を除入 ● 確認問題を除入 ■ 部長(0)が): (例) ■ マンロ状であし ・ マンロ人を知られてくれ、モクロるを入力することでマクロを作成できます。 ・ マンロ人参加し、 ・ マンローを加し、 ・ マンロ人参加し、 ・ マンロ人 ・ マンロ人 ・ マンロー ・ マンロー ・ マンロ人 ・ マンロー ・ マンロー ・ マンロ人 ・ マンロー ・ マンロ人 ・ マンロ人 ・ マンロー ・ マンロ人 ・ マンロ人 ・ マンロー ・ マンロ人 ・ マンロー ・ マ	

下図の様に選択したキー入力コマンドに対応したキーストロークに変更が反映されます。対応するコマンドが存 在しない場合は選択したコマンドのみ変更されます。

O 環境設定		×
基本設定 ショートカット設定 マ	り口設定*	
マクロー覧 + - / ▲ ▼ マクロ 1 ○ 間隔巻記録 ○ 間隔巻記録 ○ 間隔巻記録 ○ 間隔巻記録 ○ 間隔巻記録 ○ 間隔巻記録 ○ 間隔巻記録 ○ 間隔巻記録 ○ 間隔巻記録 ○ 同じ高巻記録 ○ 同じ高巻記録		保存 OK キャンセル 読み込み 書き出し
マクロ記録方法: 1)マクロー覧からマクロ名を選 2)キーボードやマクロスの末交ン 3)「■停止」マイロンをクリック3 環境はマイロンをクリック3	ビーン・シーム・シーム・シーム・シーム・シーム・シーム・シーム・シーム・シーム・シーム	
編集終了後にLI採存J又はLOKJ	ホタンをクリックすると設定和料本任されます。	

● キー入力コマンド単体を編集する*8

左下図の様に編集したいキー入力コマンドを選択して[コマンド編集]ボタンをクリックします。右下図の様に [コマンド編集]パネルが表示されますのでキー情報設定ボタンをクリックして下さい。 ※「キーを変更(押す)」パネルで解説していますが「キーを変更(離す)」パネルでも手順は同じです。

環境設定	×	◎ 環境設定	
本設定 ショートカット設定 マクロ設定		基本設定 ショートカット設定 マクロ設定	
マグローマル ● アクローマル 1 ● アクローマル 2 0.000 0 1000	 (4行) ○K キャンセル (長み込み) 豪を出し 	₹201 ₹201 ₹201 ₹201 <	マが編集 キーを変更(作す):
*20回転支払 シワムロ「載えるらいアイニレをリックルて、マクロをさ入りすることでマクロを計画できます。 *2020年間に含めいアイコレをリックルで、マクロをさ入りすることでマクロを計画できます。 やった。それやマクロのがなります。ここでは、マイローンが必然すれています。(環境量は820秒以上を推奨 の10年度にアイロを2020年までは、2020年までは、10年7年の 電気がするには可知りないのないでありまでも注意が保護します。	>	マンロ加水方法 り、マスー規にあるいアイエンをソックムて、マクロるを入力することでマクロを対応でき」 マス定語すた法、マスロを基準度、「全の語ケイニンをジルクム「下法」 シーム・マンママンクログを対すことです。これに、シングは参加すれています。(個職) 1) 「キュノアイローをジックアムことで説明が得出ます。 編集すりには含ます」のはなりなくシンクリンクテムと読むが存在れます。	とす。 まか3リ秒以上を推奨)

^{*8} キー入力コマンド単体を編集する方法はキーストロークを編集する方法とほぼ同じです。違いは[キーストロークに反 映]チェックボックスのチェックを外すことだけです。

左下図の様にキーの入力待ち状態になりますので、設定したいキーを押します。右下図の様に入力したキー情報 (ここでは「W」)が表示されますので、[キーストロークに反映]チェックボックスのチェックを外してから[OK] ボタンをクリックして下さい。

◎ 環境設定			×	◎ 環境設定	>
基本設定 ショートカット設定 マ	勿設定			基本設定 ショートカット設定 マクロ設定	
マクロー覧 + - / ▲ ▼ 5203 (間若名記念 (間若名記念 (間若名記念 (間若名記念 (間若名記念 (間若名記念 (間若名記念	▼ ✓ ● 12.85 ● ● 0.38 20% ● ○ >>> 20% 0.38 20% ● ○ >>> 20% ● ● ○ >>> 20% ● ● ○ >>> 20% ● ● ○ >>> 20% ● ● ○ >>> 20% ● ● ○ >>> 20% ● ● ○ >>> 20% ● ● ○ >>> 20% ● ● ○ >>> 20% ● ● ○ >>> 20% ● ● ○ >>> 20% ● ● ○ >>> 20% ● ● ○ >>> 20% ● ● ○ >>> 20% ● ● ○ >>> 20% ● ● ○ >>> 20% ● ● ○ >>> 20% ● ● ○ >>> 20% ● ● ○ >>>> 20% ● ● ○ >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	コマンが認 中一を変更(作す): 「十一を押して下さい ○「十一ストロークに反映 0(++εンセル	 (日日) (水) (水)<td>マクロ-32 / P ▼クロ-32 / P ★ → ▲ ▲ ▲ ● 72 / P ★ → ▲ ▲ ● 72 / P ● 7 ● 50 / P ● 50 / P ● 50 / P ● 50</td><td>HER 167 4500 (197): 0. ₩ 100 (100 (100 (100 (100 (100 (100 (100</td>	マクロ-32 / P ▼クロ-32 / P ★ → ▲ ▲ ▲ ● 72 / P ★ → ▲ ▲ ● 72 / P ● 7 ● 50 / P ● 50 / P ● 50 / P ● 50	HER 167 4500 (197): 0. ₩ 100 (100 (100 (100 (100 (100 (100 (100
マクロ指数方法: リマクロー観(法法): リアクロー観(法法): リアクロー観(からアクロを送 シキーボードやマクスの考え) の)■「母」アイコンをグリッグ 編集終7(他に指存)取は(0k)	をクリックして、マクロ名を入力することでマクロを作該 舗紙、「●記録」アイコンをクリックして下き、6 などすてしてキーストローンが記録されていきます。(することで記録が存在します。 ポタンをクリックすると設定が保存されます。	成できます。 (簡唱者305)(秒以上を推奨)		マン加速式主 りマロー 観点のらけアイエンをジャックして、マウロをも入りすることでマンロを11歳できます ・ アンロー 観からアロムを登録の、「参加鉄バアイニをションフレイドス」 ・ フター・ボードマウンロがある。大学になった。 フォール・ドマウンロがある。 「参加が中谷」ます。 編集時で他には年刊にはしたパドシンをジャンクをご注意が保存されます。	3/16以上を推選)

下図の様に選択したキー入力コマンドのみに変更が反映されます。

環境設定		×
基本設定 ショートカット設定 マク	口設定*	
マクロー覧 + - / ▲ ▼ マクロ 〇間隔巻記録 〇間隔悪し ④指定間隔巻挿入 間隔(3)1秒): [30 マクロ(生成方法:	マクロコマンド ・ ・ 記録 ・ ・ 記録 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ > ・ ・ > ・ ・ > ・	(保存 ○K キャンセル 読み込み 書き出し
 ロマクロ一覧にある!*!アイコン? マクロ記録方法: ロマクロ一覧からマクロ名を選引 シキーボードやマウスのボタン? 3)「■停止」アイコンをクリックす 	をクリックして、マクロ名を入力することでマクロを作成できます。 RL、「●記録」アイコンをクリックして下さい。 を押すことでキーストロークが記録されていきます。(間隔は30ミリ秒以上を推奨) ることで記録が将幸止します。	
編集終了後に[保存]又は[OK]オ	タンをクリックすると設定が保存されます。	

● 間隔コマンドを編集する

左下図の様に編集したい間隔コマンドを選択して[コマンド編集]ボタンをクリックします。右下図の様に[コマンド編集]パネルが表示されますので変更したい間隔時間(ここでは 500 ミリ秒を入力しました)を入力して[OK]ボタンをクリックして下さい。



下図の様に選択した間隔コマンドに変更が反映されます。

💿 環境設定		×
基本設定 ショートカット設定 マクロ	口設定*	
 マクロー覧 + - / ▲ ▼ マクロ1 同間隔老記録 問期隔末し ● 指定間隔左挿入 間隔(ミリゼ): [30] マクロ(作成方法:)マクロー覧): ある(+)アイコンを マクロ(形力 方法:)マクロー覧): のる(+)アイコンを マクロ(形力方法:)マクロー覧): つうなる(+)アイコンを マクロ(形力方法:)マクロー覧): のる(+)アイコンを マクロ(形力方法:)マクロ(市広方法))マロ(市広方法))マロ(市広方法))マロ(市広方法))マロ(市広方法))マロ(市広方法))マロ(市広方法))マロ(市広方法))マロ(市広方法))マロ(市広方法))マロ(市広方法))マロ(市広方法))マロ(市広方法))マロ(市広方法))マロ(市広方法))マロ(市広方法))マロ(市広))マロ(市広))マロ(市広))マロ(市広))マロ(市広))マロ(市))マロ(市広))マロ(市))マロ(市))マロ(市))マロ(市))マロ(市))マ(市))マロ(市))マロ(市))マロ(市))マロ(市))マロ(市))マロ(市))マクロ(市))マロ(市)))マクロ(市)))マクロ(市))))マクロ(市)))))))))))))))))))	マクロコマンド ・ ● 記録 ・ ● グ 500 2010 ・ ● ・ ● ・ ● ・ ● ・ ● ・ ● ・ ● ・ ● ・ ● ・ ● ・ ● ・ ● ・ ● ● ● <td< td=""><td>(保存 OK キャンセル 読み込み 書き出し</td></td<>	(保存 OK キャンセル 読み込み 書き出し

4.4.10 マクロコマンドの表示位置を移動する

表示位置を移動したいマクロコマンドを選択して[コマンドを上へ移動]ボタンまたは[コマンドを下へ移動] ボタンをクリックします。下図の様にマクロコマンドが上下に移動されます。



4.4.11 マクロ設定をファイルに保存(バックアップ)する

[書き出し]ボタンをクリックするとファイル保存ダイアログが表示されます。ファイル保存ダイアログの[保存]ボタンをクリックすると現在の設定をファイルに保存することができます。 ※ファイル名は任意で、拡張子は.macroとなります。

0 ###bz	×		
基本設定 ショートカット設定 マクロ設定			
マクロ→X + - / ▲ ▼ マクロ→マパ + - / ▲ ▼ ●記録	ОК (\$??	ファイルを保存 ← → ~ ↑ → PC > ドキュメント > Backup	✓ ひ Backupの検索
() 30 €U%) ↑ P	キャンセル	整理 ▼ 新しいフォルダー	l≡ •
○ 0.021/9 ● 5.84t ○ 0.21/9 ● 5.84t ○ 0.21/9 ● 5.84t ○ 0.21/9 ● 5.84t ○ 0.21/9 ● 5.84t	150-120 17-120 17-120	 ネ クイック アクセス 金 OneDrive B PC オ ネットワーク マケイルを(内) Executionation アケイルの登場(中)、1720時間(mance) 	東和日時 種類 条件に一致する項目はありません。
マンロは広また ロッズロー製造さらいアイニンをクリックして、マクロ名を入りすることでマクロ名作成できます。 つてた場合した。 コンロー製造し、シンロ名を提供、「毎日前アイロンをクリック」「下き、」 ローダーン「アンログスの深シンサポー」」であって、ロージンを出来れていきます。(簡単さかの)やおし ローダーン「アンロジングス」であって、ロージンをおいていきます。(簡単さかの)やおし 単単純に「前」(1)年に、ローズ、マンリングランシング、シングの)	上を獲得)	∧ 71№5-0余表示	保存(5) キャンセル

4.4.12 マクロ設定をファイルから読み込む

[読み込み]ボタンをクリックするとファイル指定ダイアログが表示されます。ファイル指定ダイアログでバックアップファイル(拡張子が.macro)を選択して[開く]ボタンをクリックして下さい。

東設定	×		
設定 ショートカット設定 マクロ設定			
マクロー覧	保存	つっと言志指令	
	OK	← → < ↑ □ > PC > ドキュメント > Backup	✔ ひ Backupの検索
	キャンセル	整理 ▼ 新しいフォルダー	8== → (
	统动运动	▲ りイック アクセス ^{名前}	更新日時 種類
	書き出し	OneDrive	2019/05/26 20:56 MACRO ファイル
		PC	
		オットワーク	
即再在記録			
(2017時後21年)、 開幕(21月9): 30		<	
·/□/1/成大注:		ファイル名(N): Macros.macro	✓ マクロ設定(*.macro)
マクロー第ごある[v]アイコンをクリックして、マクロ名を入力することでマクロを作成できます。 クロロ時本は・			(U) TV
、つつー戦からマクロ名を選択し、「●記録」アイコンをクリック、て下さし、 コー・ボードやマウスのボタンを押すことでキー・フロークが記録されていきます。〈開稿』は003リ秒以上を推奨〉			
■「単正」アリーノベングワンタ GLC CEDBN/F型LOK タ。			

下図の様に[マクロ読込方法選択]ダイアログが表示されますので、読込方法を選択して[OK]ボタンを押して 下さい。ここでは[通常]を選択しています(選択項目の詳細は「[マクロ読込方法選択]ダイアログ各部解説」 を参照して下さい)。

マクロ読込方法選択	×
読込方法	
● 通常 (読み込んだマクロを設定する)	
○追加(名前が重複しないマクロのみ追加する)	
○ 上書き(名前が重複するマクロは上書き追加する)	
OK キャンセル	

バックアップファイルを読み込むと設定が反映されますので[保存]ボタンをクリックして変更を保存して下さい。

5章 音声認識

音声認識機能はキャラクターに話しかけることでキーボードやマウスの代わりに【声】で入力操作が出来る機能 です。ショートカットキー入力やアプリケーションの起動、モニターの ON/OFF 等様々な機能を使用すること が出来ます。ここでは音声認識機能を有効化する方法や音声認識の基本的な操作方法等を解説しています。 ※音声認識機能を使用するにはサウンドデバイス、およびマイクロフォンが必要です。

5.1 音声認識の利用方法

5.1.1 マイクの接続

お使いのパソコンにマイクを接続し、システムトレイ(画面右下)のスピーカアイコンを右クリックして[サウンドの設定を開く]をクリックしてから[サウンド コントロール パネル]^{*1}を選択します。表示されたウィンドウの[録音]タブを選択して、接続した録音デバイス(マイク)が右図赤枠の様に[既定のデバイス]になっているか確認します。

※ [既定のデバイス] になっていない場合は、録音デバイス名の上 で右クリックをして [既定のデバイスとして設定] をクリックして 下さい。

5.1.2 マイクのアクセス設定(Windows10)

Windows10ではアプリがマイクへアクセスするのを制御する ことが出来ます。マイクのレベルメーター(右図赤枠)が反応 しない場合は、[設定]→[プライバシー]→[マイク]→[ア プリがマイクにアクセスできるようにする](左下図赤枠)と 同画面下部の[デスクトップ アプリがマイクにアクセスでき るようにする](右下図赤枠)がオンになっているか確認して、 オフになっていればオンにして下さい。既にオンになっていた 場合は、一度マイクを取り外して接続し直して下さい。

7/5

再生	録音	サウンド 通信	
次のフ	†−ディオ録	音デバイスがインストールされています:	
	₹. BI	1 化 如 uetooth Audio 动	
		イク A HD Audio(Win 10) 定のデバイス	
-0-1	それの	Fレオミキサー A HD Audio(Win 10) 在利用できません	
-975	デ vi 現	(ン入力 A HD Audio(Win 10) 在利用できません	
	堪成(①)	医完成/-铅定/5) - プロ	1/Î∓⊀(P)
	進成(())	F=2:4:[-松=(5) ↓ ブ	1/(°∓∢(P)



	¥12		OK キャンセル 適用(A)
索 2	このデバイスでのマイクへのアクセスを許可する		
	アクセスを許可すると、このデバイスを使用するユーザーはこのページの設定を使 用して、アプリにマイクへのアクセスを許可するかどうかを選択できます。アクセ スを拒否すると、Windows の勉強、Microsoft Store アプリ、ほとんどのデス クトップ アプリがマイクにアクセスできなくなります。		
のアクセス許可	このデパイスのマイクへのアクセスはオンになっています		
忽識	X .		ヴァ トレップ マプリパマノトにマト トマ・チストンにナス
	アプリがマイクにアクセスできるようにする		アスクトップ アプリかマイクにアクセスできるようにする
き入力と入力の個人用設定	アクセスを許可する場合は、このページの設定を使用して、マイクにアクセスで きるアプリを選択できます。アクセスを拒否すると、アプリからマイクへのアクセス		意図した機能を来たすためにマイクにアクセスすることが必要なアプリや Windows 機能があります。ここでこの設定をオフにすると、デスクトップ アプリ と Mindow このであることが利用される 三寸がせがれ します
& フィードバック	がブロックされます。		と Windows でできることが可能される可能性がありより。
ィビティの履歴	() オソ	ティブ化	π <i>π</i> ν
セス許可	ーー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		ー部のデスクトップ アプリは、次の一覧に表示されないか、この設定の影響を 受けません。理由を確認する

*1 [コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[サウンド]からでも表示できます。

56

5章 音声認識

5.1.3 マイクの音量調整

録音ボリュームは小さすぎると発声開始を正しく検出でず、逆 に大きすぎると音割れを起こして認識率が悪くなります。音が 割れない程度に調節して下さい。

右図のように使用する録音デバイス名の上で右クリックをして [プロパティ]を選択します。

表示された[マイクのプロパティ]ウィンドウの[レベル]タ ブを選択してマイクの音量を調整します。 ※使用する録音デバイスによって右図とは違う設定画面になる場合 があります。

音量調整をしても音声認識が正常に機能しない場合は、 一度 Windows 付属の「サウンドレコーダー」等で、マ イクの音声が正常に録音できるか確かめて下さい。

5.1.4 音声認識の開始

音声認識を開始する場合は、マイクの接続を確認してからキャ ラクター等を右クリックして表示されるポップアップメニュー の[音声認識]項目(右図赤枠)にチェックを付けて下さい。 チェックを付けると音声認識が開始されます。

音声でのショートカットキー入力は、アプリケーション 側のショートカット設定を本製品の[ショートカット設 定]に設定することで利用可能になります。 ※詳細は「4.3 ショートカット設定」を参照して下さい。

※右図のメッセージが表示される場合はマイクが正常に接続されてい ない、またはマイクが有効になっていない可能性があります。本製品 を終了してからマイクが正常に接続されているか確認して下さい。



全般 聴く	レベル	法張機能	詳細			
712	-			100	())	
マイクブースト			+20	0 dB		





ОК

5.1.5 音声認識の終了

音声認識を終了する場合は、キャラクター等を右クリックして 表示されるポップアップメニューの[音声認識]項目(右図赤 枠)のチェックを外して下さい。チェックを外すと音声認識が 終了します。

	キャラクター	>
	倍率	>
	不透明度	>
	51-h	
\checkmark	常に手前に表示	
	音声認識	
~	スタートアップに登録	
	ヘルプ	>
	アプリを終了	

5.1.6 音声認識が上手くいかない場合の注意点

- マイクの品質が悪く音声がこもっていたりノイズが混じっていると認識率が著しく低下し誤認識が多くなり ます。最新のデバイスドライバをインストールするかマイクを交換して下さい。(Windows 付属のボイスレ コーダーアプリ等で音声を聞いて品質確認ができます。)
- [マイクのプロパティ] ウィンドウの [詳細] タブをクリックし、[既定の形式] のサンプルレートが 16000Hz 以上になっているか確認して下さい。16000Hz より低い場合は正常な認識ができません。設定を 変更するかマイクを交換して下さい。
- アプリがマイクにアクセス出来る設定になっているか確認してください。(詳細は「5.1.2 マイクのアクセス 設定(Windows10)」を参照して下さい。)
- マイクの録音ボリュームの調整が不適切だと認識率が低下します。(詳細は「5.1.3 マイクの音量調整」を参照して下さい。)
- 雑音が多い環境では認識率が著しく低下し誤認識が多くなります。
- 発話者の声が低い場合は少し高めに発話してみる、また高い場合は少し低めに発話してみる等すると認識率 が向上する場合があります。
- 早口またはゆっくり話してみる等、発話する速さを変えてみると認識率が向上する場合があります。
- 発話 (単語)の間が開き過ぎると文章が分割されてしまい、音声コマンドが正常に認識されない場合があります。
- CPU やメモリの使用率が高くなると、認識率が低下する場合があります。本製品以外の起動中のブラウザや その他のソフトウェアを終了してから話しかけてみて下さい。

5.2 音声認識による操作方法

ここでは基本的な音声コマンドの使用方法や助詞等の省略方法、回数指定等を解説しています。

5.2.1 音声コマンドについて

音声コマンドとはキー入力やアプリケーション起動等のイベントを発生させる命令文の事を言います。音声コマ ンドを発話する事でショートカットキー入力やモニターの ON/OFF、ブラウザ操作やアプリケーションの起動 等、様々な機能を使用することが出来ます。

5.2.2 音声コマンドの送信

キャラクター名を呼んだ後に続けて音声コマンドを発話することで、対応する命令が実行されます。 ※連続モード中はキャラクター名を省略できます。

例)	「(キャラクター名)、時間を教えて。」	「(キャラクター名)、コピーして。」
	「(キャラクター名)、メモ帳を起動して。」	「(キャラクター名)、左クリックして。」

5.2.3 助詞等の省略

デフォルトの音声コマンドは、単語間の「を」「に」「~して」等を省略可能です。

例)	「時間を教えて。」	\Rightarrow	「時間教えて。」
	「メモ帳を起動して。」	\Rightarrow	「メモ帳起動。」
	「左クリックして。」	\Rightarrow	「左クリック。」
	「シフトキーを押さえて。」	\Rightarrow	「シフトキー押さえて。」

5.2.4 名前の省略(連続モード)

「(キャラクター名)、連続モード。」と発話すると文頭のキャラクター名を省略することが可能となります。 ※連続モードを終了するには「連続モード終了。」と発話して下さい。

例) 「時間を教えて。」 「メモ帳を起動して。」 「コピーして」

「左クリック。」 「貼り付けて。」 etc...

5.2.5 回数指定

特定の音声コマンドの前または後に1回~10回までの回数を指定して発話すると同じコマンドが指定回数実行 されます。

※回数指定はお使いの環境によって正常に動作しない場合があります。

例) 「(キャラクター名)、5回、やり直して。」
 「3回、レイヤーを追加。」
 「取り消し、3回。」
 etc...

5.3 音声コマンド文の記述方法

ここでは音声コマンド文の文法規則等について解説しています。音声コマンド文は[命令][読み][除外]のセットで作成されます。また、音声コマンド文は1つのコマンドに複数登録することが出来ます。

音声コマンド	
命令:透明水彩	
読み: とーめいすいさい	+
除外:	_
水彩ブラシ<すいさいぶらし>	B
透明水彩<と-めいすいさい>	
	•

5.3.1 命令文の記述方法

[命令]で使用できる文字は全角文字と特殊文字のみです。[命令]に入力された文章が音声コマンドとなり、 音声認識に使用されます。また、[命令]と[読み]の対応は分割数が同じであれば以下の様に正確な読み方で 無くても登録できます。

例)	「不透明水彩ブラシ」	\Rightarrow	「すいさい」
	「画像を、回転して」	\Rightarrow	「いめーじ、かいてん」

上記の様に指定すると、「すいさい」と発話すると音声認識ログパネルには「不透明水彩ブラシ」と認識表示されます。但し、他の命令文と重複する等不具合が生じる可能性があるので、出来る限り正確な読み仮名を記述す ることを推奨します。

5.3.2 読み方の記述方法

[読み]で使用できる文字は全角ひらがなと特殊文字のみです。また、[読み]で入力する読み方は発音で設定 する必要があります。以下の様に「は」を「わ」にしたり、「へ」を「え」に変換して設定する必要があります。

例)	「こんにち <mark>は</mark> 」	\Rightarrow	「こんにち <mark>わ</mark> 」
	「右 <mark>へ</mark> 移動して」	\Rightarrow	「みぎ <mark>え</mark> いどーして」

本製品は [命令] の文章が違っても [読み] が同じ場合、違いを認識することは出来ません。例えば「橋 (はし)」 と「箸 (はし)」の違いは認識できませんが、下記のように前後の文章が違えば認識できます。

例) 「橋を架ける(はしをかける)」 「箸を持つ(はしをもつ)」

5.3.3 特殊文字と文章の分割数

コマンド文では特殊文字を使用することで簡単な条件分岐等を作成できます。特殊文字は全角文字の「、」(読点) と半角文字の「(」「)」「|」「?」が使用できます。また、特殊文字を使用した位置で文章は分割されて認識されます。 [命令]と[読み]はこの分割数が一致する必要があります。

	文の中で息継ぎ(間が空く)をする位置に使用します。「、」は音声認識ログパネルには表示
•	されません。
()	文字をグループ化します。入れ子(ネスト)には出来ません。
1	複数の単語を「 」で区切って記載すると、記載した単語のうちどれか 1 つが一致すれば真 (有
I	効)になります。「(」「)」の中と[除外]でのみ使用できます。
?	直前の 1 文字または文字グループが省略可能になります。

特殊文字を使用してコマンド文を作成すると以下のようになります。

例) [命令]:「(筆|ブラシ)を、水彩ブラシに?(して|しろ)?」 [読み]:「(ふで|ぶらし)を、すいさいぶらしに?(して|しろ)?」

上記の例文は以下の様に分割されます。{}で区切っています。

- [命令]: {筆}{ブラシ}{を}{、}{ 水彩ブラシ}{に}{して}{しろ}
- [読み]: {ふで}{ぶらし}{を}{、}{すいさいぶらし}{に}{して}{しろ}

これらの文は以下のどの発話でもイベントが発生します。

「ブラシを、水彩ブラシにして」	「ブラシを、水彩ブラシに」
「筆を、水彩ブラシにしろ」	「筆を、水彩ブラシ」

この音声コマンドはまず音声認識された文章を前から検索して行き、「筆」か「ブラシ」のどちらか1つが一致 するかを調べます。一致すれば次に「を」が存在するか調べ、一致すれば更に「水彩ブラシ」が存在するかを調 べます。「に」は「?」が付いているので存在しなくても良いので検索されません。次に「して|しろ」ですが、 これもグループ化されて「?」が付いているので存在しなくても良いので検索されません。結果的に「筆」または「ブ ラシ」と「を」そして「水彩ブラシ」が認識された文章に存在していれば一致したとしてイベントが発生します。

以下の様に分割数が [命令][読み]で違う場合、コマンド文を登録することは出来ません。

例 [命令]:「(筆|ブラシ)を、水彩ブラシに?(して)?」
 [読み]:「ぶらしを、すいさいぶらしに?(して|しろ)?」

また、以下の例文左の様に[命令]と[読み]で文字数(漢字使用時)が違うものに「?」を使用した場合、[読み] は「で」だけが省略の対象になり、整合性が取れなくなります。正常に分割するために例文右の様に「()」を使 用してグループ化することを推奨します。

例) [命令]:「丸筆?ブラシ」 ⇒ [命令]:「丸(筆)?ブラシ」
 [読み]:「まるふで?ぶらし」 ⇒ [読み]:「まる(ふで)?ぶらし」

5.3.4 コマンド文の一部が他の音声コマンドと重複する場合

下記の様に一部が重複しているコマンド文が存在する場合、1 つ目の音声コマンドを途中で読むのをやめた場合 に 2 つ目の音声コマンドが実行されてしまう事があります。

例) 「不透明水彩ブラシに(して|しろ)」 「透明(ブラシ)」

音声認識は分割単位ごとに登録・認識されるので、1 つ目の音声コマンドは「不透明水彩ブラシに」で発話をや めるとイベントは発生しません。しかし、2 つ目の音声コマンドが「不透明水彩ブラシに」に一致してしまいイ ベントが発生してしまいます。

この様にコマンド文が一致してほしくない場合、[除外]に含めたくない文字を「|」で区切って「不 | 水彩」の 様に指定すればイベントは発生しません。

音声コマンド	
命令: 透明(ブラシ)	
読み: とーめい(ぶらし)	-+
除外:不同水彩	_
透明(ブラシ) <と-めい(ぶらし)> ^(不 水彩)	

指定したコマンドが思うように実行されない場合は、音声認識ログパネルで認識文字列を確認してから[除外] 設定をすることで問題が解決する場合があります。

5.4 音声認識でテキスト入力する方法

ここでは音声認識で任意のアプリケーションにテキストを入力する方法を解説しています。

5.4.1 テキスト入力の準備

テキスト入力をするには、予め下図の様に音声コマンド文を登録して[クリップボードにコピー]にチェックを 入れた音声コマンドを作成しておく必要があります(詳細は「4.3.13 音声コマンドを追加する」と「4.3.17 音 声認識された文字列をクリップボードにコピーする」を参照して下さい)。

🎍 コマンド追加	Х
ID * NewCommand_2	
ラベル* 繰り返し入力 レイヤー名貼り付け 回数指定	
メッセージ キー入力 レイヤー名を貼り付けたの ▽押す ▽離す	
 音声コマンド 命令: (疑[肌 目 服)レイヤー 読み: (かみ)はだ めらく)れいやー 除外: (髮 肌 目 服)レイヤー<(かみ)はだ めらく)れいや−> 	
 ✓ ✓	
OK キャンセル	

また下図の様にアプリケーション毎の「貼り付け」に対応したショートカットキーを設定する必要があります(ここでは Ctrl+V)。

🦻 🤹 — 🖊 🔺 🕂 🖨	
אַעדּב	ショートカット
▼ テキストをクリップボードにコピーする	
レイヤ名貼り付け	Ctrl+V
▼ デフォルトメニュー	
「取り消して。」	🕐 Ctrl+Z

これで作成した音声コマンドが実行された時に、認識されたテキストが入力されるようになります。

5.4.2 入力されるテキストについて

入力されるテキストは[音声認識ログパネル](詳細は「3.6 音声認識ログパネルを表示する」を参照して下さい) に表示された文字列がそのまま入力されます。キャラクター名を付けて呼ぶとキャラクター名も入力されてしま うので、[連続モード](詳細は「5.2.4 名前の省略(連続モード)」を参照して下さい)での使用が前提になります。 また下図の様に入力するテキストは一つのコマンドアイテムに複数登録できます。

音声コマンド	
命令: 服レイヤー	
読み: ふくれいやー	
除外:	_
髪レイヤ-<かみれいや->	P
肌レイヤー<はだれいやー>	
目レイヤ-<めれいや->	
服レイヤー<ふくれいやー>	\bullet

テキストを一つ一つ登録しても問題ありませんが、下図の様に特殊文字を使用して文章を作成すると、より柔軟 なテキスト入力を行うことが出来ます。下図は一行だけですが上図と同じテキスト入力に対応しています。

音声コマンド	
命令: (髪 肌 目 服)レイヤー	
読み: (かみはだ)めらく)れいやー	+
除外:	_
(髪 肌 目 服)レイヤー<(かみ はだ め ふく)れいやー>	

用途に合わせて設定しやすい方法で登録して下さい。

6章 音声コマンド一覧

ここでは音声コマンドと対応するイベントの内容一覧を記載しています。 ※記載されている音声コマンドの機能は、今後予告なく変更・追加・削除される可能性があります。

6.1 音声コマンド一覧の読み方

[音声コマンド]の項目に書かれている文章はイベントを発生させる命令文です。音声コマンドを発話すると[イベントの内容]に書かれているイベントが発生しますが、ショートカット設定項目やアプリケーションの起動等、 事前に設定が必要な物もあります。また、1つの項目に複数の[音声コマンド]が記載されているものは、どれ を発話しても同じ[イベントの内容]が発生しますので発話しやすい文章を自由に選択して下さい。

音声コマンドの文章中にある丸括弧「()」の中の言葉は直前の言葉と置き換える事が出来ます。認識率が悪い場 合は丸括弧「()」の中の言葉に言い換えてみることで認識率が向上する場合があります。

例)	「右ボタンを押さえて(ホールド、プレス)。」	\Rightarrow	「右ボタンをホールド。」
	「ページを次へ(進めて)。」	\Rightarrow	「ページを進めて。」
	「ボリューム(音量)を最大。」	\Rightarrow	「音量を最大。」

6.2 基本音声コマンド

ここでは基本音声コマンドを記載しています。

※ブラウザのページ操作はブラウザが一番手前に表示(アクティブな状態)されていないと機能しません。 ※お使いの環境によってはモニター操作や他アプリケーションを操作する機能が正常に機能しない場合があります。

音声コマンド	イベントの内容
「コマンドー覧を表示。」 「コマンドー覧を開いて。」	バルーン(吹き出し)で音声コマンドー覧を表 示します。
「連続モードを開始して。」 「連続モード開始(オン)。」 「連続モード。」	連続モードを開始します。連続モードが開始さ れると文頭のキャラクター名(ウェイクワード) を省略できるようになります。
「連続モードを終了して。」 「連続モード終了。」 「連続モードオフ。」	連続モードを終了します。
「ペイントソフトを起動して。」	[環境設定] で設定されたペイントソフトを起動 します。
「ブラウザーを起動して。」	既定または [環境設定] で設定されたブラウザー を起動します。

音声コマンド	イベントの内容
「メーラーを起動して。」	既定または[環境設定]で設定されたメーラー を起動します。
「メモ帳を起動して。」	[メモ帳]を起動します。
「電卓を起動して。」	[電卓] を起動します。
「アプリケーション 1 番を起動して。」 「アプリ 2 番起動。」	アプリケーション [1] ~ [2] ※数字の部分を置き換えて発話して下さい。
	[環境設定] でプロファイル登録されたアプリ ケーションを起動します。 ※詳細は「4.2 基本設定」を参照して下さい。
	[環境設定] で登録されたアプリケーションの名 前を直接指定して起動します。 ※詳細は「4.2 基本設定」を参照して下さい。
「クリップ スタ ジオ ペイント 「CLIP STUDIO PAINT を起動して。」 「クリスタ (クリペ)を起動して。」 「Photoshop 起動して。」 「 ^{1ラストレーター} 「Illustrator を起動。」 「ペイントツール SAI (SAI)を起動して。」 「 ^{プレンダー} 「Blender 起動。」 「 ^{メ タ セ コ イ ァ} 「Metasequoia 起動。」	認識可能アプリケーションと実行ファイル名の 対応一覧: 「CLIP STUDIO PAINT(クリスタ、クリペ)」→ 「CLIPStudioPaint.exe」 「Photoshop」→「Photoshop.exe」 「Illustrator」→「Illustrator.exe」 「ペイントツール SAI」→「sai.exe」「sai2.exe」 「Blender」→「blender.exe」 「Metasequoia」→「Metaseq.exe」 ※[環境設定]で上記アプリケーションの実行ファ イルが設定されている場合にのみ有効になります。
	※実行ファイル名が重複している場合は最初に指定 されたアプリケーションが起動されます。2番目以 降を起動したい場合はプロファイルの登録番号で起 動して下さい。
「ページを次へ (進めて)。」	ブラウザのページを次に進めます。
「ページを前へ (戻って)。」	ブラウザのページを前に戻します。
「ページを更新(再読み込み)して。」	ブラウザのページを再読み込みします。
「ページを上へ (アップ)。」 「ページアップ。」	ブラウザのページを 1 画面分上にスクロールし ます。
音声コマンド	イベントの内容
---	---
「ページを下へ (ダウン)。」 「ページダウン。」	ブラウザのページを 1 画面分下にスクロールし ます。
「時間を教えて。」	現在の時刻をバルーン(吹き出し)で表示します。
「曜日を教えて。」	曜日をバルーン(吹き出し)で表示します。先 頭に「今日の」「昨日の」「明日の」等を付ける とそれぞれの曜日が表示されます。
「日付けを教えて。」	日付をバルーン(吹き出し)で表示します。先 頭に「今日の」「昨日の」「明日の」等を付ける とそれぞれの日付が表示されます。
「モニターを消して。」 「モニターオフ。」	モニターの電源を消します。 ※環境によっては正常に動作しない場合があります。
「モニターを点けて。」 「モニターオン。」	モニターの電源を点けます。 ※環境によっては正常に動作しない場合があります。
「音声 (サウンド) を消して (オフ)。」 「サウンドオフ。」	システム全体の音声をミュートにします。
「音声 (サウンド) をつけて (オン)。」 「サウンドオン。」	システム全体の音声のミュートを解除します。
「ボリューム(音量)を最大。」	システム全体の音量を 100 にします。
「ボリューム (音量) を大。」	システム全体の音量を 80 にします。
「ボリューム(音量)を中。」	システム全体の音量を 50 にします。
「ボリューム (音量) を小。」	システム全体の音量を 20 にします。
「ボリューム(音量)を最小。」	システム全体の音量を0にします。
「ボリューム (音量) をアップ (上げて)。」	システム全体の音量を 10 上げます。
「ボリューム (音量) をダウン (下げて)。」	システム全体の音量を 10 下げます。
「アプリを終了して。」	本製品を終了します。

6.3 マウス&キーボード入力音声コマンド

ここではマウス&キーボード入力の音声コマンドを記載しています。 ※本項の音声コマンドは[環境設定]で指定されたアプリケーションが選択されている時のみ有効です。

6.3.1 マウス入力

音声コマンド	イベントの内容
「右クリックして。」	マウスの右クリックをします。 [回数指定可]
「左クリックして。」	マウスの左クリックをします。 [回数指定可]
「中クリックして。」 「ミドル(中央、ホイール、センター)クリック。」	マウスの中クリックをします。 [回数指定可]
「右ボタンを押して(プッシュ)。」 「ホイールボタンを押して。」 「レフトボタンプッシュ。」	指定のマウスのボタンを押して離します(クリッ クと同じ)。複数のボタンを指定すると同時に押 して離します。 [回数指定可] 認識可能ボタン: 「左(レフト)ボタン」 「右(ライト)ボタン」 「中(ミドル、中央、ホイール、センター)ボタン」
「右ボタンを押さえて(ホールド、プレス)。」 「ホイールボタン押さえて。」 「レフトボタンホールド。」	指定のマウスのボタンを押さえます。複数のボ タンを指定すると同時に押さえます。下記のリ リースコマンドが来ない限り押さえたままにな ります。 認識可能ボタンは上記と同じ。
「右ボタンを離して (リリース)。」 「ミドルボタンを離して。」 「ボタンを離して。」 「ボタン離せ。」 「ボタンリリース。」	現在押さえているマウスのボタンを離します。 複数のボタンを指定すると指定されたボタンだ け離します。「ボタンを離して」と発話すると現 在押さえているマウスボタンを全て離します(押 さえているキーボードのキーは離されません)。 認識可能ボタンは上記と同じ。

6.3.2 キーボード入力

音声コマンド	イベントの内容
「半角(全角)キーを押して(プッシュ)。」 「タブキーを押して。」 「スペースキープッシュ。」	指定のキーを押して離します。複数のキーを指 定すると同時に押して離します。 [回数指定可] 認識可能キー: 「オルト(アルト)キー(Alt)」 「コントロールキー(Ctrl)」 「シフトキー(Shift)」 「スペースキー(Space)」 「タブキー(Tab)」 「エスケープキー(Esc)」 「エンターキー(Enter)」 「レフト(左)キー(\leftarrow)」 「ライト(右)キー(\rightarrow)」 「アップ(上)キー(\uparrow)」 「ダウン(下)キー(\downarrow)」 「半角(全角)キー」
「オルトキーを押さえて(ホールド、プレス)。」 「オルトキーとコントロールキーを押さえて。」 「オルト、シフト、コントロールキー、ホールド。」	指定のキーを押さえます。複数のキーを指定す ると同時に押さえます。下記のリリースコマン ドが来ない限り押さえたままになります。 認識 可能キーは上記と同じ。 ※複数キーを指定する場合、指定キーのどれか1つ に「キー」を付けて発話すれば他の指定キーは「キー」 を省略できます。
「オルトキーを離して(リリース)。」 「オルトキーとコントロールキーを離して。」 「キーを離して。」 「キー離せ。」 「キーリリース。」	現在押さえているキーを離します。複数のキー を指定すると指定されたキーだけ離します。 「キーを離して。」と発話すると現在押さえてい るキーを全て離します(押さえているマウスの ボタンは離されません)。認識可能キーは上記と 同じ。

6.3.3 マウス&キーボード共通入力

音声コマンド	イベントの内容
「キーとボタンを離して(リリース)。」 「ボタンとキーを離して。」 「ボタンとキーを離せ。」 「キー、ボタンリリース。」	現在押さえているキーボードのキーとマウスの ボタンを全て離します。

7章 Q&A

ここではお問い合わせの多い質問やトラブルについての解説を掲載しています。本項の内容をご確認後、対処方 法をお試し下さい。OS のバージョンによって違いがある場合もございますので、詳細は Windows のヘルプ等 を参照して下さい。

7.1 起動・インストールのQ&A

Q. インストールは出来たのに本製品が起動出来ない。

インストールが正常終了しているのに本製品が起動しない場合は以下を確認してみて下さい。

- セキュリティソフトがインストールされている場合は、セキュリティソフトを停止してから起動してみ て下さい。
- インストール先の実行ファイルを直接ダブルクリックして起動してみて下さい。

Q. 製品を新しいバージョンにアップデートするにはどうすれば良いですか?

本製品をアップデートするには、新しいバージョンのインストールファイル(実行ファイル)をダブルクリッ クして実行し、画面の指示に従ってインストールして下さい。インストールする場所は、製品が既にインストー ルされているフォルダを選択し、上書きインストールしていただくことで正常にアップデートできます。

※アップデート作業は本製品(アプリ)を終了してから行って下さい。

Q. 最新バージョンは何処からダウンロードできますか?

本製品は無料体験版ダウンロードページにある[無料体験版をダウンロード]ボタン、または WEB サイト (https://www.qbell.jp)でサインインしていただき、[マイページ]→[注文履歴]にある[ダウンロード] ボタンから最新バージョンをダウンロードできます。

※どちらからダウンロードしてもインストールファイルは同じものです。 ※ ZIP ファイルの名前は同じでも内容は最新版に置き換えられております。

7.2 操作・設定のQ&A

Q. ショートカットを設定するにはどうすれば良いですか?

ショートカットの設定は[環境設定]ウィンドウの[ショートカット設定]タブで設定できます。詳細は「4.3 ショートカット設定」を参照して下さい。

Q. キャラクターを全て非表示にした場合、再度表示する方法は?

デスクトップ右下のシステムトレイにある本製品のアイコン上を右クリックして、表示されたポップアップメ ニューの「キャラクター」項目のキャラクター名をクリックしていただくことで再度表示されます。詳細は「3.8 キャラクターの表示・非表示を切り替える」を参照して下さい。

Q. 音声コマンド(命令)の文章は、自分で変更や追加ができますか?

はい、好きな言葉で音声コマンドを作成・追加していただけます。詳細は「4.3.13 音声コマンドを追加する」 を参照して下さい。

Q. 音声コマンドで起動するブラウザやメーラーは変更できますか?

はい、[環境設定]ウィンドウの[基本設定]タブで起動したいアプリケーションの実行ファイルを設定して 下さい。詳細は「4.2.2 アプリケーションへのパスを設定する」を参照して下さい。

7.3 音声認識のQ&A

Q. 音声認識を有効にするには?

マイクの接続を確認してから、キャラクターを右クリックして表示されるポップアップメニューから「音声認識」を選択して下さい。詳細は「5.1 音声認識の利用方法」を参照して下さい。

Q. マイクの設定方法は?

マイクを接続し[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[サウンド]→[録音]から使用したい[録音デバイス]を[既定のデバイス]に設定し、[プロパティ]→[レベル]から音量を調整します。 試しにボイスレコーダーアプリ等で、マイクの音声が録音できるかどうかを確かめて下さい。録音ボリューム は小さすぎると発声開始を正しく検出でず、逆に大きすぎると音割れを起こして認識率が悪くなります。音が 割れない程度に調節して下さい。詳細は「5.1 音声認識の利用方法」を参照して下さい。

Q.「音声認識の開始に失敗しました。」と出て音声認識が出来ない。

このメッセージが表示された場合はマイクが正常に接続されていない、またはマイクが有効になっていない可 能性があります。マイクの接続や[プライバシー]設定等を確認して、本製品を再起動し、[音声認識]を有 効にして下さい。詳細は「5.1 音声認識の利用方法」を参照して下さい。

Q. 話しかけると「アプリケーションが選択されていません。」と出る。

[環境設定]で指定したアプリケーションをマウスでクリックして選択状態(アクティブな状態)にしてから 話しかけて下さい。本製品は誤入力を防ぐため、[環境設定]で指定したアプリケーション以外にはショート カット入力を行いません。詳細は「4.2.2 アプリケーションへのパスを設定する」を参照して下さい。

Q.「CLIP STUDIO PAINT」を設定したのに話しかけても起動やショートカット 入力が出来ない。

[環境設定]で指定した実行ファイルの名前が「CLIPStudioPaint.exe」となっているか確認してみて下さい。もし「CLIPStudio.exe」となっていましたら、それは「CLIP STUDIO」の実行ファイル名なので「CLIP STUDIO PAINT」の実行ファイルではありません。

●下記にデフォルトの「CLIP STUDIO PAINT」の実行ファイルの場所を記載しています。 C:\Program Files\CELSYS\CLIP STUDIO 1.5\CLIP STUDIO PAINT\CLIPStudioPaint.exe

Q. マイクが正常に接続されているのに、キャラクターが正常な反応をしない。

マイクが正常に接続されているのに、音声認識が正常に機能しない場合は、一度 Windows 付属の「ボイスレ コーダー」アプリ等で自身の声を録音して録音品質を確認してから、下記項目を試してみて下さい。

- 文頭にキャラクター名 (ウェイクワード)を付けて話しかけているか確認する。
- 周囲の雑音が多い場合は、なるべく静かな環境で試してみる。
- 本製品を再起動(一度終了してから起動)する。
- 単語間の間を開けないように、なるべく連続して発話してみる。
- 本製品以外の起動中のブラウザやその他のソフトウェアを終了する。
- マイクを交換する。

上記を試しても解決しない場合は「5.1.6 音声認識が上手くいかない場合の注意点」を参照して下さい。

Q. 音声データはインターネットを通してどこかに送信されていますか?

いいえ、本製品はローカル (本製品が実行されているコンピューター) で音声認識処理をしているので音声デー タはどこにも送信されていません。

ペイントソフト用音声認識アシスタント『タンポポ』 マニュアル

2020年 4月30日 初版発行

制作・著作 Qbell https://www.qbell.jp

本書(ソフトウェア/プログラムを含む)は、法律の定めのある場合または権利者の許諾のある場合を 除き、いかなる方法においても複製・複写・再配布することはできません。